愛國婦人

半年分金四十二錢●定價一部三錢五厘●廣告料一行金六十錢●一年分金八十四錢●發行所東京麴町區牛ヶ淵公園內愛國婦人會●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹內貞三

創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回（一日十五日）發行●電話番町千七百廿五番●同五百廿番●遞送無料●振替貯金口座東京壹〇二一番

明治四十四年十月十五日發行　OCTOBER 15.1911.

老子の三寶（一）

文學博士　南條　文雄

老子といふのは書籍の名になつて居りますが、是は人の名であります。老子といふ人は、今から二千五六百年前の人で支那で名高い孔子聖人の先生であります孔子樣が支那の國の古い禮式作法を、此老子といふ人から聽いたといふことがある。孔子といふ方には少くとも四人の立派の先生があつたといふ。老子は其四人の内の一人であります。此人は實名を聃ともいふので、老聃といふ人もあります。其老子が道德敎と申して、千字文でいつたならば天地玄黃といふやうな、あゝいふ四角な文字ばかりで五千言を書きました。

支那の文字は一字が一つの言葉であるから、五千言といふのは五千字である。其老子の道德經といふ書物は八十一章に分けてあるが、其第六十七章の中に『我ニ三ツノ寶アリ、寶トシテ之ヲ持ツ、一ニ曰ク慈、二ニ曰ク儉、三ニ曰ク敢テ天下ノ先トナラズ、慈ナルガ故ニ能ク勇、儉ナルガ故ニ能ク廣、敢テ天下ノ先トナラザルガ故ニ能ク成器ノ長タリ。』といふ文句がある。是が今から二千五六百年前に支那の國の人で生れて、日本の御國へ來たこともなく又日本の御國の何事をも知らない老子といふ方が書いて置かれた言葉であります。此言葉を私が唯今此所で讀むと、これを書いた人の思ひも寄らぬ味ひが味へる。それが非常に愉快な事であり又是が古い物を新しくして使ふといふのであります。古い物を古い儘で、二千五六百年前の昔、支那に老子といふ人があつて、其人の書いた書物の中に斯ういふ言葉があるといふだけでも學問です。併し、それでは死んだ學問である。私は死んだ學問は致したくない。活きた學問をしなければならぬ。老子が此所へ出て來ましたら、私は其樣なことは夢にも知らないで書いたといひませう。それは一向構ひません。老子は少しも我御國に對して敵對ふ心なしに、道德といふことを考へて書いたのである。道德といふのは、言葉を換へれば道理を自得することである。皆さんが所得稅といふものをお拂ひなさるのは、自分の家には一年に是だけの收得があるから、それに對して是だけ拂ふと御承知になつて稅をお拂ひなさる。即ち我物になつたといふのである。人間は損をすることは嫌ひで、益をすることは好きである。詰局道理の益をするので、道理が我物になつて居るのである。其味ひを老子が書いたのであります私共專門の佛敎の書籍を藏に一杯持つて居りますけれども、如何にも唯だ此の『慈故能勇』の四字の中に味があるのです。我天皇陛下の平和を御希望遊ばし下さる其難有き思召も、此『慈故能勇』である。皆さんは誰か文字の上手の人に此四字を書いて貰つて額にでもして眼に着く所に掲げてお置きなさつたら宜しからう。此四字で君の御恩、又お互樣であるが兩親の恩、それから又自分の知らない事を敎へて呉れた師匠の恩、此君父師匠の恩も分ると思ひます。是に就ては澤山申上げることはあるが僅かの時間では述べ盡せませんから、此處には極く簡單にお話する事と致します。

北海道勝景（羊蹄山、一名蝦夷富士）

此『我ニ三ツノ寶アリ』の『我』といふのは自らを指す言葉で老子が私に取つたのです。併し老子だけに取らせてはなりませぬ。老子も人ならば私達も人であるから『我』といふのは人と見る、即ち我々人間と生れた者の心の中には三つの寶がある。モッと澤山あるやうですが三つあれば十分です。『寶トシテ之ヲ持ツ』といふのは、大事の物を手に持つて放さないが如く寶としてシッカリ心に持つて居る世界中の人は皆人と生れた以上は心に三つの寶があるが寶として持つて居らなければ駄目である。寶の持ち腐れである。私はいつもお話をする時に例に引くが、此『コップ』は水なり湯なり飲むに重寶であるから寶である。重寶であるといふてチャンと貯へが出來るから、私が今日お話する間に喉が渇いたら水を飲むやうに此所に親切に出してある。ところが今誰も水を飲まないからといふて、此のコップを石にでも打つけて粉微塵に碎いたらどうでせう。重寶の『コップ』を寶として使はないで、寶の持ち腐れどころか寶の打壞しである。世の中の人は眼に見へて居ることにはさういふ馬鹿な事は致しませぬが、眼に見へない此三つの寶は兎角寶の持ち腐れで打壞しもある。（つゞく）

本號主要目次

▼老子の三寶（一）……南條博士
▼離婚の研究（上）……永井早大教授
▼腹式呼吸の話（一）……二木博士
▼夜中強盜に襲はれたる折の注意……阿部伯爵夫人外數氏
▼西洋農家の家庭（完）……廣瀨學士
▼鼻のつまつた人は不幸である……渡邊學士
▼西洋婦人のお產は重い……磐瀨學士
▼箏曲評釋松の下風（卅）……池邊京大講師
▼地理的智識の必要（上）……三ヶ尾生
▼千葉名所（上）……照月
▼講談貞女の一念（續）……早川貞水
▼時事解說伊土開戰
▼和歌俳句家庭育兒實驗等
▼外に附錄愛國婦人會記事二頁

●本紙（附錄共）十四ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

離婚の研究(上)

早稻田大學教授　永井柳太郎

一

米國から近着の新聞に次のやうな離婚の記事があつた。それは紐育のある辯護士の妻君で、その良人から支拂はるゝ化粧料が不足だから、とても添遂げることが出來ぬと云ふのである。所で是迄は幾何だけ貰つてゐるかといふと一年に六千弗、即ち日本の金高に換算すると、ざつと一萬二千圓であつたのであります。私はその辯護士が如何なる身分の人であるかを知らぬから、六千弗の金額が其人の妻君の化粧料として適當なるや否やを判斷することは出來ぬが、然かし兎に角人の妻となつて偕老を誓ふた者が、その良人の支拂ふ化粧料の不足のために離婚を要求するとは呆れはてたことで、我國などに於ては、想像も出來ぬことである。然かし米國といふ國は、皆様も御存の如くもとは英國の殖民地で、その人民の大部分は移民であるから、男子の人口が自然その婦人の人口より多い。それで婦人を大切に致した結果、婦人の權利が増長して離婚の如きも外國に並無きほど自由になつたのであります。

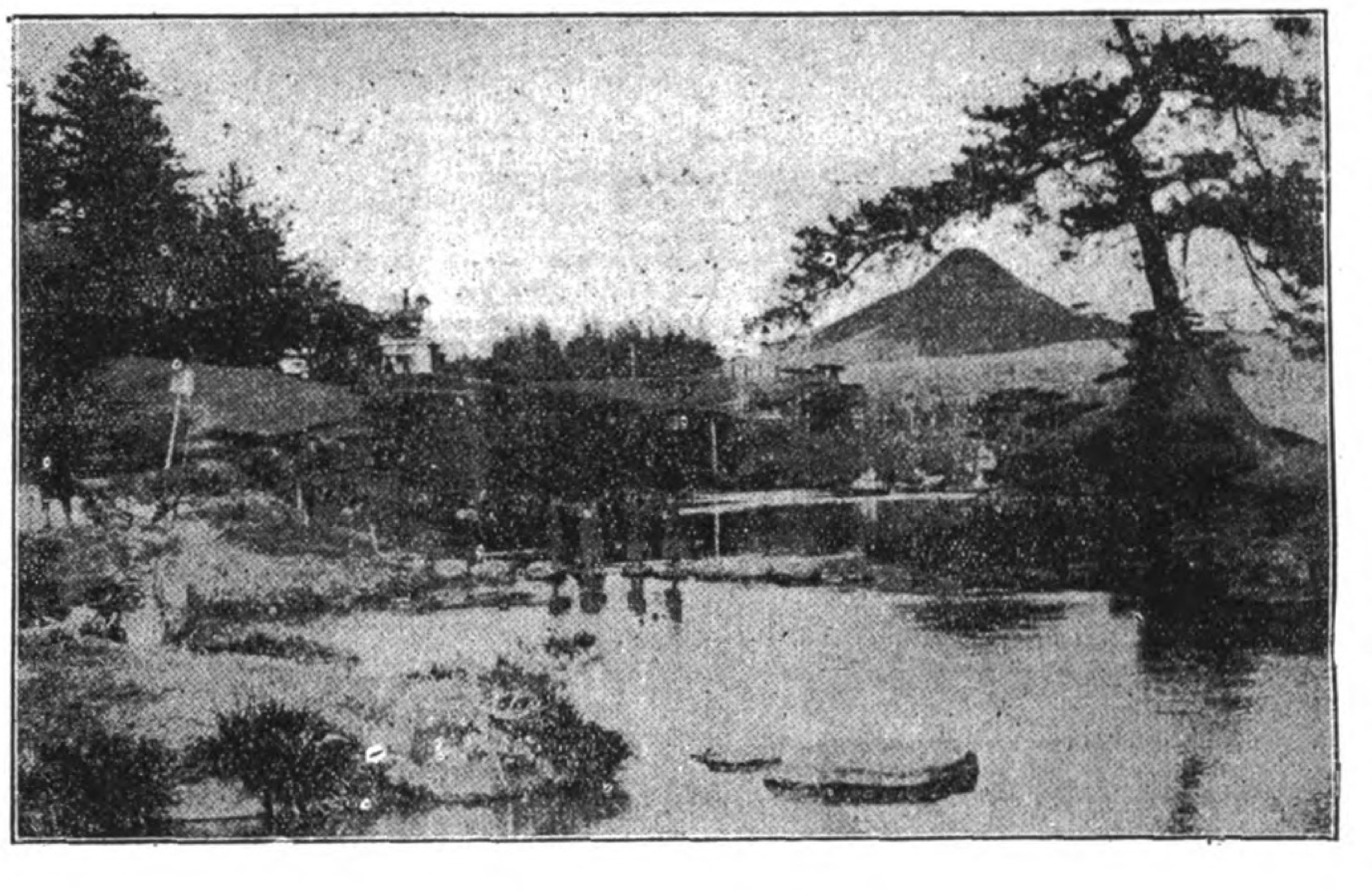
二

米國の諸州はアラスカとコロンビアとを除く外、凡て別々の離婚法を所有して居るのであるが、その中若し良人にして飲酒癖を有するならば離婚を要求するも差支なしといふことを規定せる州が四十二ある。だから日本の男子などは、浮かと米國の婦人に結婚を申込むことが出來ぬわけである。最振つた離婚になると、その良人の接吻數が多過ぎるとか、または寢息が臭いとかいふやうなことを迄、其の理由としてゐるのであります。如斯き有様であるから米國に於ける離婚數は驚くべきもので、千八百六十七年から千九百〇六年まで四十年間に於て百二十七萬七千件の多數に達した。おまけに其數は年々に増加し、千八百六十七年に於ける離婚は一萬に充たなかつたのが、千九百〇六年に於けるそれは七萬五千を超えたのである。勿論、此間に米國の人口も増加したが然かし離婚數の増加の速度はずつと人口の増加の速度よりも早かつた從て西洋に國多しと雖も、その離婚の頻繁なる點に於ては、米國が一等であります。

三

然かし世界は廣い。こゝに東洋に於て、この米國に輪をかけたほど離婚の頻繁なる國があるのであります。それは何國であるか。不幸にしてそれは吾等が祖國なる日本であります。明治四十一年の統計を見ると我國に於て行はれた結婚數は、すべて四十六萬一千餘で、これに對して離婚數が約六萬あつた。だからザット七箇の結婚に對して一箇の離婚があるといふ割合で、七人の花嫁があれば、その一人は離婚せらるゝ運命を持てゐる次第であります。米國は離婚が頻繁だとは申すものゝこれほど迄多くはない。十箇の結婚に對して一箇の離婚があるに過ぎぬのでありますから、日本と比較すればまだ弟分であります。

これは一寸考ふると不思議なことである。日本の婦人は米國の婦人のやうに離婚の自由を持たぬ、日本の婦人は、その良人に對し一般に柔順で、化粧料が不足だから離婚を要求するとか、良人が酒飲みだから訴訟を起すといふが如き我儘者は、金の草鞋で探廻つても見當らないのであります。加ふるに日本の婦人は、大體に於て、尚未だ自活の能力に乏しく、一度び離婚をせらるれば、立ちどころに糊口に窮するといふ有様であるから、大抵のことは我慢に我慢をして、舅姑や良人の機嫌を損はぬやうに努めます、如斯であるから離婚の如きは、極めて少數でなければならぬのに、事實はさうでなく却て米國よりも多い、之は何故であるか。



熊本水前寺公園

●腹式呼吸の話(一)

醫學博士　二木謙三

今日は泰平の御代であります。世も治り、雨風も其時を得て居る結構な御代でございます。併ながら一面より見ますれば、今日は又實力の戰爭の最も激しい時であります。何れの國民が勝つか、何れの國民が劣敗するかといふことが緊要の問題になりつゝある即ち實力の戰爭最中の今日であります。誠に不吉の事を申上げるやうでありますが、此實力の戰爭に勝つか負けるか、又其戰爭に要する所の大砲、軍艦、爆裂彈、兵隊、是は何んであるかと申しますれば、私共の眼から見ますると、智識と體力とが此戰ひの彈となり、此戰ひの軍艦となるのであります。而して其彈、其軍艦、其劍を造る所の人は誰であるかと申しますれば、御婦人を措いては他にはない、と私は思ひます。今日此場合に於て我愛國婦人會の斯の如く隆盛に發展しつゝあるといふことは、啻に本會の爲に喜ぶべきことでなくして國家の爲め、此日本の國をして實力の戰爭に勝利を得せしむる爲には誠に此上もない結構なことであります。就ては今日私に何か話をするやうにといふことでありましたに依つて、御辭退を申上げずに、常に私が主張して居ります腹式呼吸といふことに就てお話を致すことに成りました。

さて此お話は、私が敢て皆さんにお話を申上げるといふ次第ではない、と申上げたいのであります。皆さんはモウ既にどちらの修養でも積んで、出來上つていらつしやるから、希くは之れを皆さんの御子弟の方々にお授けを致したいといふ考であります。さうして其お授けを致す方法は私が考へ出した方法でも何んでもないので、今日の言葉では腹式呼吸と申すが、昔の言葉で申せば氣海丹田の元氣を養ふといふ方法であります。氣海といふのは空氣の海、元氣の海、即ち空氣或は元氣といふ氣の海と申しまして、此お臍の下に丹田といふ大切の場所がある其所は元氣を貯へて置く所の海のやうなもので、いくら汲んでもいくら取つても涸るゝことも絶へることもないといふ大切な場所であります。其お臍の下にある所の大切の場所を、一名丹田と申すのであります。丹と申しまするのは仁丹の丹の字でありまして、あれは不老不死の藥といふ意味を持つて居る字ださうであります。其不老不死の藥を此身體の中の何所に求めたらよいかと見ますると、お臍の下の大切な場所に植ゑられてある。其所が即ち丹藥といふ藥の植つて居る畑であるといふ意味があるから、丹田と名けられて居るといふのであります。其丹田の元氣を養ふ法は二千年以前の昔印度の書物に現れて居る結構な法でありましてそれが支那に傳はりましてからでも千七百年ほどになるといふ話であります。それから支那から當時の文明と共に日本に傳はりまして、日本の佛法の方に行はれて次で日本の武士道に行はれまして、武士は腹を練らなければいかぬといふことを唱へられたものであります。即ち膽力が据はらなければいかぬ。或は馬に乗るとか、弓を引くとか、撃劍をする、鎗をこくといふやうな場合には、下腹に十分な元氣が籠つて居なければ神妙な働きが出來ない。手の先ばかりでは何も出來ない本當の業は腹でしなければならぬといふので大切にされた法であります。(つゞく)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

●夜中强盜に襲はれたる折の注意

●士道を竭して已む

伯爵夫人　阿部篤子

已に强盜である事を認めた以上は士道を辱しめざる程度に臨機の處置を執り、充分平素の修養を實行して後已む考です。邸内には請願巡査二人と、若者五六人位置きます。別には警護等はありません。勿論主人の居間などへも寸鐵も置きません。舊藩士の子弟を世話して『誠之館』といふのを邸内に建て、之に右子弟を二十餘人も置き、擊劍柔道を奬勵し、主人自らも折々臨場まして、武を練磨させて居る位の事で、別段之れと云ふ非常の際の處置を、豫め講ずる事は致しません。

●後で必ず取戻す

鳩山春子

未だ强盜に襲はれた經驗もありませんが、何程私でも、春日局の前樣のやうな事は、例令武術の嗜が有つても致しません。從前は選擧の折などには壯士が拔刀を振りかざし威しに來る事もありましたが、鳩山は大事の身、そんな者の相手はさせられませんから、何時も私が會つて何程か金を遣つては追拂ひました。强盜とても結局こんな者ですから、何でも好な者を持つて行かせ、而して惶てずに能く賊の人相や其他の特徵を覺えて置いて、其筋の參考に供し、取られた物は必ず取戻します。邸內には巡査も居れば、店子には屈强な若者も澤山居りまして、非常の時には呼鈴で相通じます。

●平素が第一

阿部龍子

此家へ嫁ぎましてから三十年近くなりますが、未だ一度も御見舞を受けた事が無いので、申上ぐる事もありませんが、官舎は至つて戸締が寛かですから、何時でも這入れる事でしやう、來れば、何もありませんが有らん限り持つて行かせます。然し賊が這入つて早々聲を掛けるのは宜しくない、出て行く時に大聲をするのが宜しいさうです。私は何より第一に火の元を注意し、召使一同を寢かして後始めて休みます。女子の召使ひ、特に妙齡の二三人は私の直ぐ隣室に伏させて、併しそれも是れも平素充分身を愼んで德を修めるのが肝要だと存じます。

●何でも持つて行かす

伊庭くに子

私は舊幕臣の家に生れ、一通りの武藝の嗜が無いでもありませんが、斯の通り地方の父兄から大事の女子を託されて居りますので、塾生が何よりも大切ですから、之が爲めには如何なる犧牲を拂ふても辭しません。而し第一に肝腎なのは妄りに騷がずに、能く落付いて事を爲すに限ります。昨年三人の强盜が各人拔刀を携へて押し入り、突然私を縛して强請しますから、私は徐ろに事の次第を說き、欲しい物は何んでも渡すが、預つて居る塾生が一番大事だから、之には一指も染めてはならぬと云ふ條件の下に縛を解かせて、先づ自分の居間の內で目星しい品を渡しましたが、賊は尙飽かで二階の塾生の方に行くといつて聞きませんから、據なく先立ちに案內しますと、疾く眼を覺して居た塾生も、私が參りましたので安心して渡す物は渡しましたが、金の外は皆後で戻りました。何うも此際には落付いて能く考るのが第一と存じます。

●平素の信仰が肝要

本多貞子

强盜には這入られた事がありませんが、一度火事で丸燒になりました。當時非常に火事の流行する時で、數日前二階の屋根から非常用の綱を弔し、且つ夫が不在になるので、呉々も注意して行きましたが駄目でした。イザ火事、と云はれた折、私は四人の子供と共に二階に寢て居りましたが、長女が眞先きに乳兒を背負ふて降り、九才の娘が續きまして、私が降りる時には階段一面が火煙で迚も免れません。進退谷まつた上句。急に神の助を思出し、一心に祈りながら、突然五才の兒を二階から投出し、次で欄干に掴まつて居る七才の姉を突落し、先づ安心と漸く氣が落付き、先が見へて、雨樋に傳つて降りましたら、不思議に皆無事でした。斯んな風ですから、如何に物質的の用意が有つても、非常の際には何の役にも立つものでなく、要は平素の信仰によるより外はありません、

西洋農家の家庭（三）

農學士　廣瀨次郎

▲便所と浴場（つゞき）

歐羅巴は決して昔から段々進步したのではない、近頃俄かに發達して來たので、今後も此勢で進步するに違ひない。日本も明治維新以來、非常な勢いで進步しつゝあるが、然し中々追附くもので無いといふ考が起りました。次は浴場でありますが、浴室を持つて居る農家は極めて少い、假令浴室があつても、風呂を焚くといふ場合が極少い。日本では農家十戸に對して一戸位は風呂桶の用意がありますけれども、西洋の田舎では、先づ三十戸に一戸位しかない。而も其の風呂を焚くと云のは一月に一度焚けば結構で、大抵の農民は、一生涯風呂に這入つた者が無い位です。併し吾々日本人の樣に、度々風呂には這入りませぬけれども、毎朝、それから夏になるといふと、毎晩即ち一日に二回つゝ、冷水摩擦をして、それで以て身體の淸潔を保つて行く。

▲西洋には土藏が無い

此の外に日本にあつて西洋にないものがある。即ち家具を納める土藏といふものがない。是は西洋の家屋全體が、日本の藏の如く戸締が嚴重であるから、別段に道具を藏の中へ入れて火災盜難を防ぐといふ必要が無いからでありますけれども、又一つには西洋人は餘分の品物を持たぬ習慣があるからである。我々の家では平常必要が無くて、年に一度か二度しか用ゐない御客用の家具を持つて居る。普通用の椀や皿の外に、御客用の道具を用意して居る。さういふ道具を西洋でも用意して居る家も有りますけれども、それは非常の大財產家に限つて、中等の家では決してさういふものは用意して無い。從て倉庫といふものゝ必要が無い。家具と申しますれば、普通每日入用の物許り、粧飾品と云へば、自分の住宅內に、一通り並べられる丈けの粧飾品がある迄のことでございます。空しく蟲に喰はせたり或は黴を生やさせるといふ樣なことは一つも無い。

▲百萬圓の資產家の妻君の衣裳簞笥が二つきり

私が一箇月許り居りました、巴里近在の大農家は四百町步を自作して、其外多少株券類も持つて、資金が凡百萬圓ありますが、此の農家の妻君の衣裳簞笥は、二つしか無い。若し日本で百萬圓の大地主の家へ行つて見たならば、少くとも妻君の簞笥は五棹位、其の外に長持が三つも四つもありませう。土用干するには、五日も六日も掛る。けれども、あちらでは、土用干をする程の衣服は決して持つて居らぬ。尤も毛織物は兎に角、西洋人は冗な物は用意して置かぬ。室內裝飾品の額面も僅か五つか六つしか掛けて置かぬ。日本では百萬圓も資產のある人は、資金の十分の一以上の道具を只空しく藏の中に仕舞つて其の一小部分のみを客に見せる樣な譯でありますけれども、歐羅巴の人間は粧飾でも室內に飾れる丈けに止めて置くのです。（完）

●阿部濱尾兩夫人の園遊會

秋の空淸く晴れて氣も澄み渡る過ぐる十四日午後一時阿部本會々長並に濱尾副會長は正副會長の資格を離れ個人として本會理事評議員及東京支部評議員幹事部長幹事等約六百名を本鄕西片町なる阿部伯爵邸に招待して園遊會を催されたり、詳細次號。

雲井の法影

▼九月十七日（日）東宮殿下上野公園日本鑄金展覽會並第二回窯業品展覽會行啓　◎竹田宮殿下埼玉縣下より御歸京

▼同十八日（月）東宮殿下鹽原御用邸御成　◎伏見宮殿下千葉より御歸京　◎朝香宮鳩彥王第一王女御命名式あり紀久子女王と御命名あらせらる

▼同十九日（火）軍艦矢矧進水式へ西侍從武官を、上野公園內全國窯業品展覽會へ栗田侍從を各御差遣の御沙汰あり　◎朝香宮殿下千葉縣津田沼御成

▼同二十日（水）閑院宮殿下習志野御出張

▼同二十一日（木）閑院宮殿下習志野より御歸京

▼同二十三日（土）北白川宮大妃殿下擴子女王殿下御同伴葉山へ成らせらる　◎東伏見宮同妃兩殿下葉山より朝香宮殿下習志野より御歸京

▼同二十四日（日）北白川宮靜子女王殿下逗子より御歸京

▼同二十五日（月）東宮殿下鹽原御用邸御出門西那須野なる大山元帥別邸行啓　◎伏見若宮殿下御歸京

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家庭と地理的智識（上）

三巻芳嶺

我邦人の地理的智識は極めて淺薄であつて、中流以上の相當の敎育ある人でも猶世界の大體の地理のみならず、日本内地の地理に關する普通の智識でさへ缺けて居るのが多く、家庭一般の地理的智識に至つては、殊に貧しきものであると斷言するを憚りませぬ。嘗て大學に在る自分の友人が、淡路は島ですかねと自分に尋ねた事がありました、自分は實に我が耳を疑つた程、此の奇問に驚いたのでありました。堂々たる或る紳士が英領カナダと北米合衆國とを混同して話をして居るのに驚いた事もありました。伊土間の風雲が怪しいとか、トリポリがどうしたとか云つて居る連中が、其所在地さへ知つて居らぬのに、可笑しさを禁じ得なかつた事もありました。某令夫人が東京から下關に至る間の鐵道に沿うて居る重なる都會の名を順序正しく云ひ得ぬので、女學校で何を習つたのかと怪んだ事もありました。

歐洲に於ても昔は地理的智識は頗る缺乏して居りました。ギリシヤの有名なる詩人ホメルでも、僅にギリシヤの一地方を知つて居たばかり、又有名なる史家ヘロドタスでも、地中海沿岸の地理に通じて居つたに過ぎなかつたのであります。然し此等は紀元前一千年から五百年頃の事で、今から二千五百年乃至三千年も前の事でありまして、以來世界球形說も地動說も皆歐人によつて首唱せられ、確定せられ、且種々の探檢發見が盛に起り、交通往來の機關も皆其の發明であつて、其接觸して居る範圍極めて廣く且つ早いのであります。即ち歐人の智識は世界の各地に亘つて居りましたから、今日に於ける各家庭各個人の世界的智識が、遙かに我が邦人に勝つて居る事は明かな事實であります。まして歐洲では種々の方法で地理的智識を養成する事を奬勵する美風があるから、一層進歩する筈であります。

世界の地理に精通するといふ事は、即ち世界の大勢に精通する根本でありまする、殊に交通線路と交通線路との結び附いて居る邦國、陸海、都邑の事情とを關係的に知る事は、即ち世運の大勢、國家の消長を知る所以であります。それ故地理的智識の深い淺いは、小さく云へば個人の存立、大きく云へば國家經營の得失に關する事が頗る大きいのでありまする。スエズ運河の開通、シベリヤ鐵道、米國及カナダの横斷鐵道などが、世界の大勢に如何なる變動を與へたか、又パナマ運河の開通がどんなに大變動を與へんとするかといふ樣な事を考へたならば、地理的智識の必要な事は、明白となる譯でありますが、鐵道、運河、航路などの新に開通するもの、市港の消長するもの植民地の勃興するものなど、日に月に相繼ぎ、從つて日々夜々に起る所の世界の新事件に對して、之を解釋して廣く興味を感じようとするにも、地理の智識が無くてはなりませぬ、新聞紙を手にとり外國電報を讀んでも、地理の智識が有りませんでしたら、黑暗の裡に物を搜ぐる心地がするでありませう。（つゞく）

●箏曲評釋 松の下風

京都大學講師　池邊義象

（三〇）

●橋姫●

（一）水の上のうたかた、露にやどる稻づまあるかなきかの世の中に、宇治川のはしひめ。

源氏物語宇治十帖なる橋姫を本としてつくれり。桐壺の帝の八の宮、宇治に世をさけおはしけるを、世に宇治の宮と申せり。この宮に、源氏の子薫中將をり〳〵かよはれけるが、宮の御娘二人おはしますに、御心をよせられたるものがたりあり。

水の上のうたかたは、水上の泡にて、直にきえゆくものなり、そのはかなき、露に宿る電、實におもへばあるかなきかの世にすむ。宇治の橋姫そあはれなるとなり。橋姫とは、宇治橋のほとりにまつる神なれども、こゝにては八宮の姫君にたとへたり。

（二）身のうき時は立よらむ、かげとたのみし椎が本、むなしきさとゝなりにけり契りのほどぞかなしき。

これは同じく宇治十帖の椎か本の巻によれり　薫中將は常に八宮を賴みて、身のうき時なとのより處にもせられしを、宮は遂にはかなく千世を過ぎ給ひぬその契りのほとそ、いとも〳〵かなしきといへるなり、本文の歌に、

立よらむかげとたのみし椎か本
空しき里となりにけるかな

とあり。

（三）峯におふるさわらび、むかしの花のおもかげ、わすれかたみにつみおきて、ぬしなき宿におくらむ。

これも同じく早蕨の巻のことなり。宇治の宮かくれたまひて後、二人の姫君（大君、中の君）おはしたりしに、程なく大君また失せたまひたるなり。その明春、山の阿闍梨かもとより、蕨をおくるとて、

君にとてあまたの春をつみつれは
つねをわすれぬ初蕨なり

とあり、中の君之を見てかへしに、

このはるは誰にか見せむ亡人の
かたみにつめる峰のさわらひ

とあり。この二首の意なり

（四）さきの世の契りか、この世のうちのなさけか、空しきあとゝうちの里、たえずこゝに宿りき。

これはやとり木の巻より出てたり。薫中將の述懷なり。前世の契りか、現世の情か、八宮も大君もうせましたる、空しき跡の宇治の里ながら、昔のわすれかたくて、こゝにたつれ來ることとなり。薫中將は、ふかく大君におもひをかけたりし人なり。宇治は、憂をかれいへるはもとよりなり。

（五）ひとかたならぬものおもひ、よるべ定めぬ浮舟、あだなる名のみたちはなのこじまが崎にこかるゝ。

浮舟の巻によれり。浮舟とは、八宮の御娘ながら大君、中の君の異腹の妹なり。この君、薫中將と匂宮とにおもはれ、遂に契を二方に結はれたり。後そのことをいたく惱み煩ひて、身を宇治川に捨てんとせられしに、橫川の僧都に扶けられ、遂に佛戒を得、剃髮して小野にかくれられたりしなり。この一章は、浮舟のその煩惱の心をいへるなり。橘の小島か崎に、匂宮に伴ひゆかれ、打歎かれたることなどあるより、仇なる名のみ立花云々とはつゞけいへり。よるべといひ、こがるゝといへるは、舟の緣語なり。

（六）小野の花の秋のころ、ねやのつまの紅梅、それかとまがふ花そのゝ、むかしの人ぞ戀しき。

手習の卷によれり。浮舟の小野にかくれられて後も何となくむかしを思ひ出さるゝ心なり。秋のちくさのいろ〳〵春の紅梅のにほひなどに、薫中將、匂宮の袖ふれしむかしを、戀しくおぼすよしなり。

この一組は、宇治十帖のこゝろを、章をおひて歌とせるのみ、世のはかなきためしと、人の情の朧せてともすればまことの操をも失ふことをいへるなるべし。

半襟と女性

一般婦人が其身嗜みの中でも殊に人目の焦點ともなるべき半襟に就いて他愛もなく自分の思ふ事、若へる事秘密も迷信も悉く露骨に書く。寸餘の地合に、模樣に、姿の品位を定め形の美觀を分つのだから之れを求むる婦人が店頭に立つて激しい目移りのするのも無理はない。それは兎に角花柳界の者どもは流行の魁を以て任ずるだけに又種々の迷信もともなつてゐる。模樣に椿の花は落ちて直ぐ萎むと云ふので甚しく忌み紅葉も散り易いからと之れも嫌ふ。藤なども下がると云ふ理由で嫌つたもので是迄半襟の模樣には入れなかつたが人氣役者の某の定紋に藤の花があると云ふ處から流行する樣になり昨年の秋の實行は非常なもので今年も藤の模樣さへ入れると其半襟は必ず賣れると云ふ有樣だつた。此秋も定めし盛況を見るであらうと通人は語つたが、其通りである。次ぎに花嫁の半襟には紫を醒め易い色だと云つて忌み地合を白にして菊、鳳凰、千鳥、鶴、蝶々などを喜ぶ。就中蝶々は其季節を選ばヌ一般の婦人に愛される模樣である。尙ほ半襟の季節模樣は大抵春は夏の草花、夏は秋の草花、秋は冬の草花、冬は春の草花と云ふ風に次ぎに來る季節の自然色を入れたものが流行する。今は秋のもので縞地に鼠色が山の手、下町、花柳界を通じて流行してゐるがクリーム、ウラハなども勢力を占めてゐる。模樣は菊、蔦、カタバミ、桐などである。主人が花柳界の人々に依つて見たものを求めさせるから大した相違を見ない樣になつた。此處に於て其服裝も改めなければ半襟と調和しない事が多いのである。

家政の實驗談 育兒の實驗談 を募集致します

家事經濟の執り方、臺所の注意、下婢の使ひ方、洗濯の爲方、漬物の漬方、品物の保存法、子供の躾け方、子供の衣服の造り方、おしめの取り扱ひ方、添寢の歌や子守の歌、子供に讀ませる書籍の注意、其の他何も家政と育兒に關し、有益と思召す事でも、有害と思召す事でも凡て實際に御經驗の御話が承りたいのであります。文體は如何でも、唯別りさへすれば宜しう御座います。端書でも封書でも差支ありません。猶續々投書を祈ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鼻の塞つた人は不幸である　(下)

醫學士　渡邊舒

▲吃りとなる　單に顔付にのみ止まりません、引いては唇舌等の筋肉の働きが變るために、言葉が吃つて來る事があります。

▲消化器に及ぼす害　口を開いて呼吸を致しますと、舌、唇、口中及び口の奥が乾いて、痒いやうな擦られるやうな、何か物のあるやうな感が起り、又暖い空氣や冷たい空氣が直接に當りますから、粘膜を刺激して加答兒を起し其の上、分泌物が固まりて腐敗し、加答兒を層一層強めます。加之、口中の粘膜の種々の黴菌に對する抵抗が弱くなり、扁桃腺炎とか「ヂフテリア」などに犯され易くなります。處がこの扁桃腺は、種々の傳染病、例へば急性關節「リウマチス」、紫斑病、心内膜炎、膿毒症、「ルイレキ」等の病の入口となる處であります。又食事をするにしても、十分に食物を咀嚼る事が出來ません、何故なれば、口中に食物を充して居りますと、口で呼吸する事が出來ませんから、口で呼吸するには、勢ひ早く食物を飲み込んで、口を空にせねばならぬからです。特に赤兒に於きましては、唇と舌とで固く口を閉じて乳を吸ひますから、その間は、全く鼻で呼吸せねばなりません。處で、鼻で呼吸する事が出來ませんと、空氣を得るために、頻々と乳房から離れねばならぬから、赤兒は不安を感じて落ち付かず、泣き叫び、睡眠も不足となり、衰弱して營養が惡くなり、遂には生命にも關はる程となり、人工的に管を以て養はねばならぬ様になる事があります。又鼻の塞つた人は齲齒も生じ易く、齒列も惡くなり、上の前齒が次第に飛び出して、俗に云ふ反齒となります。

▲胸部に及ぼす害　また特に年若い人は胸廓が變り胸の上部が飛び出して、下の方が凹み、俗に云ふ鳩胸となります。その他、胸部の臓器に害を及ぼし、氣管や肺を害し、また頸が氣持惡く、乾くために、心臓や肺を丈夫にする運動、即ち走つたり、飛躍んだり、體操したり、自轉車に乘つたり、舟を漕いだり、其他「テニス」等が嫌ひとなります。

▲神經に及ぼす害　鼻の塞つた人は、屢種々の頭痛を起します。これは鼻が塞つた爲めにも起りますが、通常は鼻の塞つた原因によるか、又は同じ原因で閉塞鼻と頭痛とを起します。平常鼻の塞つた人は、多くは智力が不十分です。これは鼻が通ふやうになると、多くは止みますが、何故にさうかと云ふに、第一には頭痛のため、第二には鼻が塞ると聞えが惡くなり、耳が病むために、物に注意したり物を記憶込む力が減ずるからでありまして、長く一つの事に心を集中する事が出來ず、又深く物を考へる事も出來ずして、以前あつた事を忘れたり、物事を纏めて考へる事が困難となり、數學等が不得手となるのみか、酒に醉ひ易くなり、夜尿や噴嚏や咳嗽に惱まされたりします。その外鼻が塞ると鼻汁が貯るために、これを擤み出さうとして、腸に力を入れるから、脱腸の原因となる事があります。

▲以上は鼻が塞るために起る害でありますが、實際に鼻の塞つた人は、この外に鼻の塞る原因となる病がありますから、その方の害もこれに加はる譯であります。世の中には、鼻の塞つたために上に申しましたやうな神經衰弱や呼吸器病等に罹り、而も鼻の方には少しも意を留めず、内服藥位で神經衰弱や呼吸器病等を治さうとするから、少しも快方に趣かず、遂に自分の病は到底不治であると非觀する人が決して少なくありません。このやうな人に鼻の治療を行ひますと、今迄の疾患が全く止みまして、患者は夢かと計りに驚く事がよくあります。でありますから、若し鼻が塞つた方がありましたら、早速然るべき醫師の治療を求め、醜い顔貌になるのを未發に防ぎ、併せてこれに伴なう難治の疾患を治して、天與の幸福を享けられん事を切望する次第であります。

(完)

西洋婦人のお産は日本婦人のより重い

醫學士　磐瀬雄一

▲お産の折に號泣する西洋の婦人
▲魔醉劑を用ひてお産をする
▲お産の重い原因はなにか?

我國でも左様ですか、西洋では特に分娩といふ事を大變に重く考へて、誕生日を非常に尊重致します。從つて産婆の如きは一度嚴重な試驗を經たばかりでは、未だ〳〵安心が出來ず、開業一二年のあとで又々試驗がありまして、其の際運惡く落第すると、例へ一度開業した者でも往々或る期間營業を停止さるゝ事があります。

西洋で斯く分娩の重んぜられますのは、畢竟西洋婦人の分娩が我國の婦人のお産に比べて、輕症ないからでありまして、西洋婦人は我國の婦人に比べて、初産では三十分三十七秒丈の長い時間がかゝり、二度目以後のお産では一時間四十六分二十三秒だけ長く要る、殊に分娩の第一期では、我國婦人よりも初産で一時間と三十五分四十五秒、二度目以後のお産で二時間十六分四十秒といふ、驚ろくべき長時間を要する割合になつて居ります。

かく西洋婦人のお産が我國の婦人よりも重症のには、何が原因するかと云ふと、一は身の嗜み方の相違にも因る事でありましやう。我國の婦人は、古來分娩を婦人の重い義務として、激烈な苦痛も之を耐忍び、取亂したる形態を見せるのを耻辱と觀じて居りますが、西洋婦人は之に反して、喜怒哀樂の情を即座に現はし、分娩の際には激痛の潮來に從つて苦痛を愬へ、聲を揚げて號泣のが常でありまして、獨り産婦ばかりで無く、附添つて居る母親や姉妹等も亦、泣く間は苦痛を忘るゝと稱して、同じく聲を合せて泣くと云ふ奇觀を呈するのであります。

現今泰西の上流社會では、お産の苦痛の際に、魔醉劑を用ゐる事が流行しますが、私が滯歐中、日本では産婦に魔醉劑を用ゐんでも、苦痛を愬へる事は無いと言ひましたらば、彼地の婦人は更らに之を信じない樣子でありました。

狹窄骨盤及雜婚の二つも、亦お産を重からしめる源因であります。彼地の婦人は幼少の時に、家屋の建築、空氣の流通其他生活狀態から骨の疾病を惹起す事が尠くありませぬ、爲めに我國の婦人よりも狹窄骨盤が多い、ヘイグル博士の如きは我國の例を擧げて、小兒に母乳を飲ますれば狹窄骨盤を減少させる事が出來ると主張して居られます。更に雜種民族結婚の弊害も大なるものがあります。是等が先づ我國婦人より西洋婦人の分娩が比較的長くかゝつて、重症い原因となつて居るのであります。(講演の一節)

●慈悲は上から降る

いかなる流罪死罪にも行ふべけれども、よしよし慈悲は上より下り、仇を恩にて報ずるなれば、汝が知行それは相違あるべからず。(謠曲)

家政 育兒 實驗談　(投稿募集)

●おまじないと食合せ

豐橋　都築悦子

一、鷄頭の花　鷄のトサカによく似て居ります、あの鷄頭の花の葉に黒砂糖を包み、おもちやにして、遊んで居りまして、其砂糖を食べまして死にました兒があると聞て居ります。注意!!

二、西洋芋と墨　學校で硯の墨をなめて歸り直に西洋芋(薩摩芋の一種)を食べまして死にました兒があります。

三、山の芋と家鴨の玉子　は食ひ合せにて死にます。

四、たことふのり　たこを食べてあたりました時には、フノリをせんじて飲みますと治ると云ふことで之は私が實驗の上たしかめた事です。

五、思ふ時の眼の覺める　おまじないは、夜寢る時に、明朝何時頃に目がさめますようにと、左の歌の上の句だけを三度云ひまして、次に目が覺めたらば下の句を申ますと云ひ、柿本の人麿様をたのみ申て寢ます。

(上の句)ほの〴〵と明石の浦の朝ぎりに
(下の句)島かくれゆく船をしぞおもふ

朝眼がさめました時に、下の句を三度云ふのであります。

●豆腐に鬆が立たぬ

岩手　野菊子

私の數年來の經驗に依りますと豆腐を食べますのに少量の葛を皿に溶いてそれを湯の中に混ぜて茹でますと豆腐が硬くもならず立ち易い鬆も立ちません、湯豆腐などを致しますのには必ず少量の葛を溶いて湯に入れる方が風味の上に特別の趣が現はれるやうに思ひます。豆腐をお好みの方はおためし遊ばせ。

●黒い水引

長野　孝子

宅の子供のお祝ひがあつた時、お祝ひにいたゞいた品のうちに黒水引のかゝつたのがございましたので母が大層心持ち惡がつて居りましたが、どういふものか子供は十日ばかりで病死致しました。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時事解説

伊土開戰

◎我國の嚴正中立 朕ハ此ノ次伊太利國ト土耳其國ノ間ニ不幸ニシテ釁端ヲ啓クニ方リ帝國ト此ノ兩國トノ間ニ現存スル平和ノ關係ヲ維持セムコトヲ欲シ茲ニ局外中立ヲ宣言ス帝國臣民竝ニ帝國ノ管轄内ニ在ル者ハ戰局ノ終ニ至ルマテ嚴正中立ト相容レサル一切ノ行動ヲ避ケムコトヲ期セヨ

右は今度伊太利と土耳其間の平和が破れて愈戰を開いたにつきまして、我國では嚴正局外中立を守るに決し、去る三日宣布されたる詔書であります。

◎開戰の原因 開戰の原因と云ふと、本月一日に伊太利國が宣戰の布告を致したのみで、土耳其國では未だ宣戰の布告を爲しませんので、戰爭開始の大責任は伊太利が負はねばならぬ事となつて居りますが、先ず伊太利の宣戰布告の要旨は、

トリポリに於る伊國臣民の生命財産の保障なく經濟上の利益を侵害せられ其施政に關しては數次妨害を加へられ來りしを以て土國政府に對し其都度國際的適當の處置を採り伊國人の保護を要求したるも之れに應ずるなく遣回伊國政府は交讓の精神を以つて圓滿に兩國の關係を解決せんと欲したるも土國政府は其の誠意なきものと認むるか故に已むを得ず宣戰を布告するに至れり

といふのださうであります。併し此のトリポリ問題は今日突飛に起つた問題ではなく、實は四五年前からの兩國間の交渉問題でありまして、云はゞ平易な一種の懸案問題でありますのに、戰爭開始の大責任を背負つてまでも火急に戰を開き、兩國と最も關係の深い歐洲諸國をまでも事の意外に驚ろかしたのには、其の間に多少の理由が無くてはなりますまい

さあ其の理由と云ふのは何かといふと、土耳其との交渉が荏苒で解決が遲延と、其間に獨乙國や他の强國からの干渉がはいつて伊太利國自身の多年の野心宿年の冀望を貫くことが出來ないやうになる、といふ形勢を見まして、急に戰をいどんだものであらうとの噂であります。

◎伊太利國の野心 それでは伊太利國の多年の野心、宿年の冀望といふのは何であるかと申すと、それはトリポリ國に於て經濟上並に政治上獨特の權利を獲得しやうとするのでありまして、短刀直入的に云へばトリポリ國を自己の領分に爲やうとするのであります。ところがトリポリ國は實に土耳其の立派な屬國であります。

◎トリポリの地位 さて問題の中心たるトリポリ國は北部亞弗利加地中海沿岸に在りまして、東は埃及に接し、西はチュニス、アルゼリーに境し、南はサハラ沙漠に連つて居り、面積は約我日本國の二倍程の大きさであります。それに人口は非常に尠く約百萬人位、多數はベルベル人で外に數千名の歐洲人も居り、通用語としてはアラビヤ語が廣く用ゐられますが氣候は大變に瘴癘、地味も亦磽确、産物としては大麥小麥毛類などがあります。首府はトリポリで、土耳古は此處に約一萬の兵を率ゐた總督を置いて治めて居ります。

◎兩國の軍備 先づ伊土兩國の海軍を見ますれば、伊太利は現に戰鬪艦及裝甲巡洋艦等合せて十八九隻を有するに反して土耳其の海軍力は甚しく劣つて居りまして僅か三四隻の戰艦と數隻の巡洋艦等を有するに過ぎませんので、土耳其の海軍は到底伊太利軍には敵ひますまい。陸軍に於ては兩國共に約四十萬人の兵を有つて居りまして伯仲の間に在ります。

◎戰局の發展 さて今後戰局は如何に發展推移致しましやうか、なにしろ土耳其本國とトリポリの間は伊の海軍によつて聯絡が斷たれましたので、トリポリに於ける一萬の土耳其軍は孤立の狀態に陷りました。この土軍は僅一萬に過ぎませぬが、外に募集さるべき義勇兵が四五萬人はあるさうです。これ等の土耳其軍、鳥合の勢とも見られますが、元來有名なる回々敎徒で『死は天國なり』といふ信念を抱き、一人でも敵を殺せば天上の極樂境に上り得るといふ堅き宗敎心を有するので勇猛無比との說もありますから、さう易々と伊軍に打ち敗る事もありますまいが、さて將來如何戰局が發展しましやうか、順次引續き記載する事と致しませう。

◎戰況一瞥

▲伊太利驅逐艦數隻はプレヴエザ附近に於て土國水雷艇二隻を轟沈し快走艇及び汽船各一隻を拿捕したり右汽船には土國兵士百六十七名と多量の彈藥を搭載し居たり。(倫敦電報)

▲伊太利軍約三萬トリポリに上陸し同市街を占領す、土軍は一切抵抗を爲さず内地に退却したり。

千葉名所 (上)

照月(投)

一、猪鼻城跡

千葉町の東南方に當りて、斷崖空に峙ち、奇古千歲の翠松其頂を掩翳するもの、是れ千葉八景の一、猪鼻臺にて、千葉氏累代の城址なり。史に傳ふ、高望王の孫平忠常下總介となるや、其の子常將創めて此地に城き、爾來累代其居城となせりと、相馬日記には「安房上總の山々も海のあなたに及ぶばかりに見渡さるゝ所なり」とあれど、見渡し得るもの豈に房總の諸山のみならんや、試に山上に立て一望すれば、袖思ケ浦の碧波は洋々として脚下を走り、遠くは富嶽水雲の際に聳へ、其他武相の諸山雲烟渺茫の裡に隱見す、仰げば松高く、天低く、松風颯として海風の彈ずるに委す、洵に一個の好活畫なり。蓋し治承の昔、常胤風雪に會し談笑此に覇を定めし、過し榮華の夢語り、今は徒らに松籟の諷々たるあるのみ。

千葉殿の狩屋引たり枯尾花　蕪村

下總や冬暖に麥畑　子規

今は千葉公園となり、鬟頭園内に警官殉難記念碑を建て、殉難警官の靈を慰む。

御茶の水

二、御茶の水

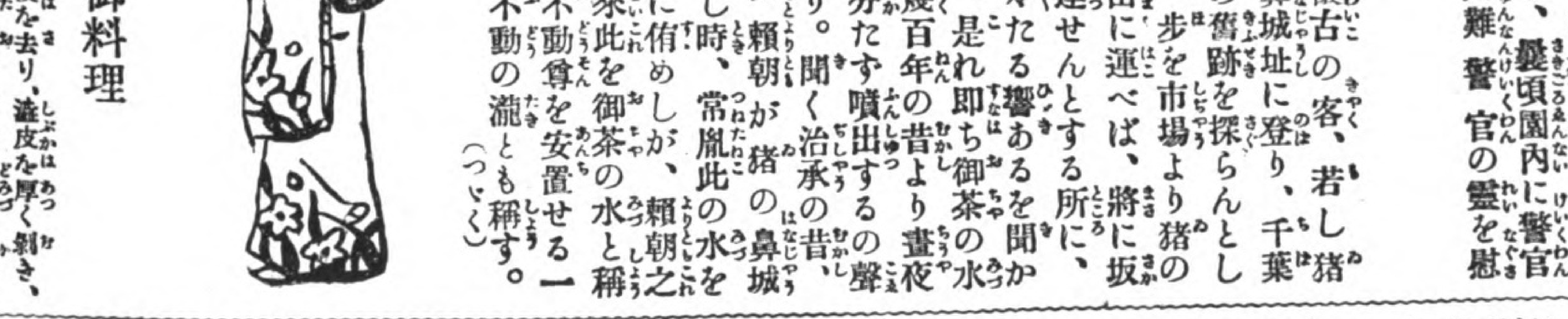
懷古の客、若し猪の鼻城址に登り、千葉家の舊跡を探らんとして、歩を市場より猪の鼻山に運べば、將に坂に達せんとする所に、潺々たる響あるを聞かん。是れ即ち御茶の水が幾百年の昔より晝夜を分たず噴出するの聲なり。聞く治承の昔、源賴朝が猪の鼻城に千葉常胤と會見せし時、常胤此の水を以て茶を養て、賴朝に侑めしが、賴朝之を賞味せるより、爾來此を御茶の水と稱せしと、御茶の水に不動尊を安置せる一小祠あり、故に之を不動の瀧とも稱す。(つゞく)

季節の御料理

▲栗きんとん 栗の鬼皮を去り、澁皮を厚く剝き、水にて好く洗ひ、少時水に浸し置き、二三度水を更へて充分にアクを拔くのですが、其際手荒く扱ひますと煮ない前から大かた毀はして仕舞ひますから、矢張笊に入れた儘澤山の水に浸して置き、更へるときにソツと揚げるやうにしなければなりません、一升の栗を煠でるには、三升ほどの水を沸かして置き、そこに少量の酢若くは明礬を少し入れますと、色が好く揚ります、火加減は弱く、湯は二三度取換へて煠でるやうにするのが宜いのです、但し酢なり、明礬なりを入れますのは、最初の時だけで、水を更へてからは入れないでもよいのです、衣も本式に拵へるのならば、斯様にして煠でた栗の三分の一ほどを裏漉にするのですが、甘藷を用ゐるならば、皮を剝いて細かく切り、水で好く洗ひ、二三度水を換へて煠で、裏漉にしました其量は栗一升に甘藷三四百匁でよろしい、偖て栗は灰引砂糖で弱火にかけて煮、味淋と鹽とを入れて味の加減をなし後から衣を入れて杓子で靜かにかきまわしながら煮詰めるのです。

▲鯛なんばん 葱を二寸位の長さに丸切にし四ツに割り鍋の底に敷き、鯛の切身に一鹽をして燒き葱の上にならべて煮た汁五合ほどをかけ、五勺の醬油砂糖二十匁位の割に加減し、三十分程煮て鍋のまゝ出し、粉山椒など振りかけてよし。

▲菌味噌 松茸を細く裂き、三十分以上鹽水につけ置き何ほ清水にて洗ひ、水氣を去り、徐々と胡麻油にていり上げ、別に普通の煠味噌をかたへにかけ置き煮え上がりし時前の松茸を煮込み、弱火にてゆる／＼煮つめ、冷めたる時別の器につめ貯へ置きて隨時用ゐるのです。



紳士も　お孃さんも　奧さんも　薫りよき千代田香油の高評盛んなり

定價　特製七十錢　大瓶卅五錢　中瓶廿五錢　小瓶十七錢

東京馬喰町　發賣元　山岸三之助

愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金 は壹部金參錢五厘壹ケ月七錢であります。此代金は四月、七月、十一月の三回に御請求致します。其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局を委託し請求致す事もあります。此の代金を御送りになる時は郵便爲替でも宜しくありますが振替貯金が一番安全確實で、紛失や未着の恐れもなく其上郵便費もかゝりませんから御便利でございます。但振替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金 の御方には當所から殊更らに受領證を差上ませんから郵便局から御受取の振替受領證を後日の御參考に御保存願ひます。

▲郵便切手 で御註文又は御送金の節は必らず一割増に願ひ上げます。

▲愛國婦人發行所 の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番であります。

▲お手紙の御住所御姓名 は明瞭にお認め下さい御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めを願ひます。

愛國婦人發行所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛讀者諸君へ謹告

▲新聞の代金 は壹部金錢五厘壹ヶ月七錢であります。此代金は四月、七月、十一月の三回に御請求致します。其の手續きは郵便はがき又は集金人を差出します。其外都合に依りては郵便局を委託し請求致す事もあります。此の代金を御送りになる時は郵便爲替でも宜しくありますが振替貯金が一番安全確實で、紛失や未着の恐れもなく其上郵便賃もいりませんから御便利でございます。但振替で御送金になる時は、拂込口座登記料として金一錢必らず御添へを願ます。

▲振替で御送金 の御方には當所から殊更らに受領證を差上げませんから振替貯金受領證を後日の御參考に御保存願ひます。

▲郵便切手 で御註文又は御送金の節は必らず一割増に願ひ上げます。

▲愛國婦人發行所 の振替口座番號は毎號新聞に掲載してありますが、東京一一三八一番であります。

▲お手紙の御住所御姓名 は明瞭にお認め下さい。御轉居の節は、必らず新舊御住所御認めた願ひます。

愛國婦人發行所

萩露如花

宮内省御歌所主事 坂正臣先生選

一等（賞品贈呈） 備中足守 林 秀子
花の上の露もさかりのま萩原玉をにしきにかさねてぞしく

二等（賞品贈呈） 長崎 よし子
花と見てすきゆくなへに露ちりてそてさへぬれぬ野への萩原

二等（賞品贈呈） 岡山縣淺口郡長尾村 小野比佐子
朝風にこほるゝ露をかつさきてかつ散る萩の花かとそ見し

三等 豐橋市 平松いと子
風すみて蟲なく庭の秋はぎにはなかと見ゆる露のしら玉

三等 本郷駒込淺嘉町 衣笠きく子
花ならぬ花とさきたる白露のたをらは散らん萩の一枝

三等 京橋和泉町 宇佐美こま子
朝ごとに萩におきたるしら露は花のかす添ふ心地こそすれ

佳作

○咲きそめし花とも見えて糸はぎの葉ごとに結ぶ今朝のしら露　下野 等司子
○さながらに花かと見えて小萩原おく朝露のうつゝしきかな　千葉 土川靜子
○糸萩にやとる白露月うけてさきまさりぬる花とみえつゝ　岡山 西村清子
○白露も小萩の色にそめられて花のかすそふあさほらけかな　芝 土師利根子
○白露の玉の横野の萩の花こぼるゝ儘に秋は闌けゆく　宮城 長谷川紫葉
○萩の花枝もたわゝに咲と見て手折れば消ゆる露の白玉　岩手 渡邊豐嘉子
○秋萩の花は野分にちりはてゝおきかはりける露のしら玉　豐橋 都築悦子
○秋萩の葉ごとに結ぶ白露はやがても花のこゝちこそすれ　日向 山下むら子
○白露か花かあらぬか萩か枝のゆらくまに／＼玉そこほるゝ　赤坂 清水まつ子
○朝な／＼庭の糸萩露おけりにほひて咲ける花とみるまで　丹後 寺田とも子
○枝たわにさける花かと見ゆるかな月にうつれる萩のしら露　失名
○萩の上におくしら露を花と見て折らんとすればもろく散りけり　岡山 盛江幸子
○朝またき眞萩か原にたちよれば露の白玉花とちりつゝ　豐橋 市川みとり子
○心して袖をなふれそ垣の木に露を花にてにほふ糸萩　麻布 濱子
○時ならぬ花とも見えて美しき萩のは末にやとる白つゆ　岡山 西村具子
○また咲ぬ小はぎか枝におくつゆの花ともみえてなつかしきかな　横濱 鈴木まつ子
○とひくればまはぎの露の花とさきてやみにもしろし妹かゝとへは　北海道 五十嵐やす子
○花ならば手折らむものを朝露の人まとはする萩のうへかな　横濱 鈴木伊都子
○さく枝もたわゝにみゆる袖垣の小萩の露ぞ花とこそみれ　岐阜 野村なか子
○しのゝめのほのにあけゆく庭のせの萩の上の露や花と見るまで　本郷 中村えい子
○ながめやる垣ほもたわに秋萩の露は花をもあさむきにけり　神田 伊藤美野子
○白露も花とみえけり美しう雨のあしたの庭の萩むら　岡山 森島古野子
○朝日さす光まはゆき白露は花かとぞみる宮城野の萩　千駄ヶ谷 石川治子
○秋萩の青葉にむすふ白露の玉の光は花かとそみる　日向 坂元はま子
○糸萩にこほるゝはかりおく露の花かとまかふ朝ほらけかな　石巻 吉田とき子
○おきわたす露に夕日のきらめくをさきぬとみつる野への糸萩　岩代 小川しん子

俳句

鳴雪先生選

天 三重縣北牟婁郡尾鷲町土井町東宗軒内 まさ子
蟲鳴くに法華經一字／＼哉

地 仙臺市新河原町七 武者はる子
萩咲けど父は返らず養蟲の

人 岡山縣和氣郡片上町 森島古野子
蟲あさる尼に遭けり夕月夜

佳作

○蟲きくや月に名殘の嵯峨の宿　福井 三谷富士子
住み馴れた我家なれども蟲の聲

○夜は蟲の啼くに任する草家哉　本郷 中村えい子
こは由々し蟲きゝほれて月が出し
四面楚歌ならねど蟲のなく夜哉

○前栽のいづれに掛けん蟲の籠　福岡 安川ちか子
秋の雨軒より暮れて蟲の籠
蟲の音と月のあかさに眠り得ず
蟲鳴くや經一卷を繙けば

○夜は人のあらぬ茶店や蟲の聲　飛驒 田中あき子
我庵や夜は水の音蟲の聲
寐て聞や雨のとぎれて蟲の聲
蟲の音に秋知る夜とはなりにけり

○こほろぎの廊下に秋を啼く夜哉　横濱 鈴木伊都子

○野の井戸の底照る月や蟲の聲　三重 千里
蟲が啼く根芋の葉分け月夜かな
蟲なくや暮れれば咲かぬ月見草
菊の香に朝をうごめく何の蟲

○雨軍の陣を對して蟲の聲　福岡 安高靜子
蟲啼くや垣間洩る灯に露の玉

○道連におくれてきくや草の蟲　日本橋 大橋まさ子
雨折々蟲なく夜半の寒さ哉

○急く道に踏み處なし蟲の聲　本郷 清香
耆にうみて一燈孤なり蟲の聲
誰ぞや來て籠なる蟲のなきやすみぬ

○蟲啼くや野邊の徑を攪戻り　兵庫 三畑たか子
瀟寒の小道廻れば壹の蟲
宿の戸を叩けば蟲の聲細し
おん庭の草なきに月の蟲涼し

○蟲鳴くや椽にまします若き尼　廣島 佐々木忠子

○靈塔に月澄うして蟲の鳴く　京都 但村はつ子
經堰やいつ飛び來しか蟲の聲
比丘尼御所書たしづかに蟲のなく
蟲きくや雨の燈火草に引く

○武夫の袖にも啼きぬきり／＼す　長崎 芳子
化粧する鏡をはふやきり／＼す
蟲のれにさまよふよの小あぜ哉

○鳴く蟲の聲も止みけり喪屋の鉦　尾州 宮田いそ子
大寺の古りて宵々蟲の聲

○ふみよみてあかす一夜や蟲の聲　豐橋 みどり子
武藏野の昔偲ぶや籠の蟲

○露に明け蟲に暮れゆく在所哉　三重 まさ子
蟲の音に埋められたる山家かな
石垣の破目の草や蟲の鳴く
圍き岡いくつ續きて蟲の原

○蟲賣の聲も聞えて夜の市　岡山 森島古野子
放ち遣りし蟲我庭を去らざりし
荒城の石垣長し蟲の聲

▲愛國文苑▼

◉和歌 坂正臣先生選
月前雁（十月十日締切）　山路菊（十月廿五日締切）

◉和歌 佐々木信綱先生選
紅葉（十一月十日締切）　初冬風（十一月廿五日締切）

◉俳句 内藤鳴雪先生選
砧、鵜、夜長、暮秋 雁（十月五日及二十日締切以上の内何れにてもよし）
菊、紅葉、霜、千鳥、木枯（十一月五日廿日締切）

▲愛國文苑▼

茶ばなし

秋子

一六 勸定違ひ

甲某の家に、よい女の嬰兒がうまれました。すると乙某の方から、今歳二歳になる男の兒があるから許嫁の約束をしてくれないかと、媒人を以て申込みました。

甲『何だ。こちらが一歳で、先方は倍の二歳―こちらが十歳になると、先方が倍の二十歳―さう違つては娘が可哀さうでござる、眞平御免を蒙りませう』と素氣なく斷りますと、母親が、口を出し。

母『眞人さん、それは勘定違いだよ。こつちの嬰兒は、今でこそ一歳だが、來年になると、先年の子供と同じやうに二歳になります筈じやないか』

似たもの夫婦とは、こんなのでせう。

一七 團子賣り

暑い土用あけの七下りた、一人の行商が

商『團子や、團子や―』

と賣つて通ります。その聲は、いかにも細く衰へてあゆむ脚下も、ひよろ／＼してゐますので、或人が

人『お前さん、その顔つきは如何したのだ？』

商『はい、お腹が空いて／＼、今にも目が舞りさうでございます』

或人は不審の眉をひそめて

人『そんなら、その賣物の團子を食べたらよかりさうなものヂヤ』

商『ところが旦那、この團子は饐えて居りますじや』

日本赤十字社病院御用達
蒸熱殺菌牛乳販賣所

本店 麴町區永田町二丁目
乳牛場 豐多摩郡千駄ヶ谷町

鈴木牛乳店

電話新橋 一九九五
振替口座 二四二四

一弊店の蒸汽殺菌牛乳は最良の牛乳を壜詰の儘一定の熱度と時間とを計りて殺菌したるものなれば滋養成分の完全なるは勿論消毒後開封せざるを以て黴菌等の浸入する事なく又長時間腐敗の憂なきは壜詰殺菌牛乳の一大特色なり

特許 巴風呂
二十分で沸く
燃料は何でもよし
特許 己式 一分湯沸
半分間で沸く 水を差せば差す丈湯となつて出る
東京神田區錦町十九
巴商會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

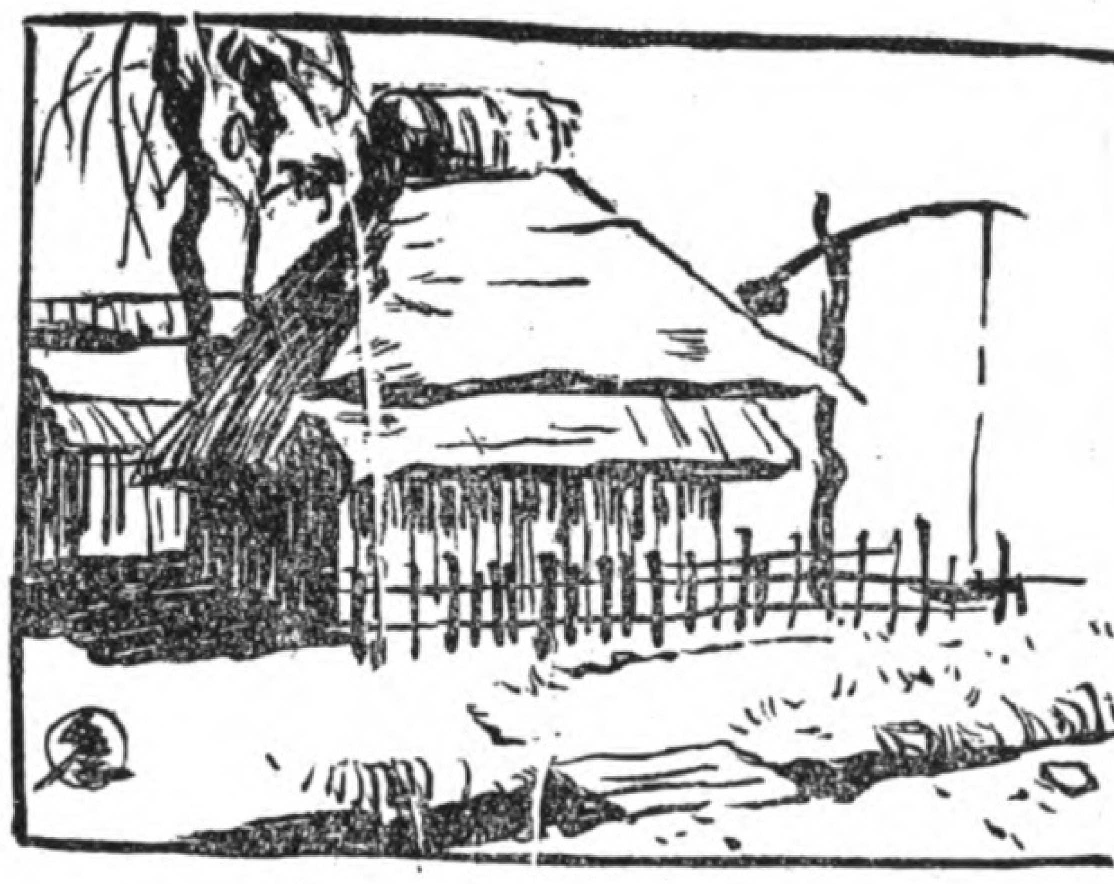
教育講談 貞女の一念（三）

眞龍齋貞水

さて間重次郎光興の父喜兵衛は、御主君御割腹の當夜、光興並に舎弟新六郎を一室に呼び集めまして、今後の方針に就て談合を致します。

「さて皆も承知の通り非常の珍事出來をいたしたが、御家の興廢如何あらん、何と致して宜しからうぞ」「御父上には舎弟新六郎なるものを御連れ遊ばし、御國表へ御出であつて、御城代大石内藏之助良雄殿に此事を御訴へ下し置かれ、生死は御城代の御差圖に御從ひ下さるやうに」「尤の次第然らばこの喜兵衛は新六郎を召連れて先きに播州赤穗へ罷越すから、其方は能く江戸の始末をして、後より御國表へ參れ」「ハイ委細心得まして厶る」「コリャ新六郎」「ハイ」「御父上の御供をして、御國へ參り、御城代の御差圖に從ふのであるから、萬事御父上の側を離れないで能く御護り申せよ」「ハイ、畏りました、然らば御兄上、御父上の御供を致して、御國へ參ります」「左樣致して呉れ」姉上樣、然らば御機嫌宜しう」「新六郎殿、御父上を御願ひ申します」と涙を拭いて「御父上樣、貴父は隨分御年を召して在はするに依つて御身體を御大切に遊ばしまして、決して御粗末に遊ぬやうに、此程御國へ御乘込遊ばしますのは、誠に御苦勞樣に存じます」「アヽコレ婦、跡のことはよう頼むぞよ、「委細承知仕りました」と斯かる騷動の中なれば、親子夫婦と雖も碌々言葉を交はして緩りなどゝいふ場合ではない、怱ちの間に支度を爲して了つたる間親子は重次郎光興を殘して、先きに播州赤穗を指して出立に及びました。

そこで間重次郎光興は御新造に向つて「コレ貞」「ハイ」「實に今回の大騷動はどうも夢の如き大騷動が出來いたし、御上も此程の御大役に付いて御及傷遊ばされたのは、彼の吉良上野介義央の爲め、彼れ御師匠番にして意地惡きことを致すといふは、屢ゝ漏れ承つて居りましたけれども、實に殘念の至りである、そこで此方は國許へ參り御城代と生死を共にして御家の御爲めに是非とも一身を捧げて盡さねばなりませぬことであるから其方は倅重太郎を連れて當地に殘つて此方が國よりの安否を待つて居て呉れ」「ハイ委細承知致しました、必ずとも跡



々のことに御心を置かせられず、御安堵あそばしまして、御國表に入らせられ御城代樣と御同意あそばしまして、宜しく武士道を御立て下され、倅重太郎のことは、私か側に居ります上は、少しも御案じ下し置かれませぬやうに願ひます、併し隨分、御身體を御大切に遊ばしくだされますやう」「然らば其方等の親子は當地に留まるやうにいたせ」

そこで何れへか預けたく思召すけれども御家中一般の騷動ゆゑ、誰に相談するも人とてもなく、他に親類といつて妻子を頼む所がない、如何致さんと思ふて居る所へ、植木屋六三郎が飛んで參りました「間樣」オーコリャ、植木屋の棟梁、「トンダ事が出來致してございます、御察し申上げます」「イヤ能く來て呉れた」「何ぞ御用が厶ましたならば何なりと御遠慮遊ばさらず仰付下さりまする樣に御願致す」「イヤ棟梁、誠に御身の言葉にあまへるやうだが、この妻子ぢやが、これを何分御頼み致したいのであるが、どうであらう」御親造樣に御坊樣、ヘエ宜しうございます、私が確かに御引受を致します、それぢや斯う致しませう、私共は職人が大勢出入をいたしまして、萬一御新造樣に對しまして御無禮でもあつてはなりませぬから、幸に私は牛の御前の側に一軒家を所持して居りましてさう他人の出入りもありませぬから、其處にお置き申して御世話を致すといふことゝ致しませう、さもないと又世間ではどんな惡口がないとも限りませぬから、左樣のことゝ取斗らひたいと存じますが」「どうか其處の所は宜敷頼む」「それぢやこれから私が直ぐ引返しまして其家の方は始末を致して、職人を連れて參つて御荷物等を御預りを致ますで厶います」「どうかさういふことにして貰ひたい棟梁御家の騷動の爲めに飛んだ御迷惑を掛けることになりましたが、どうか何分宜しく頼みます」「ヘエ恐れ入りましてございます」と、こゝで植木屋六三郎が引返して直ぐに家の掃除をさせる。

職人の心利いた者を連れて來て間樣の御荷物をお引取申し上げ、密かに間重次郎殿御新造阿貞殿、御子息重太郎殿を此の家に、御置き申し、何不自由なきやうに日常に必要なるものは何一つとなく米から味噌醬油炭薪に至るまで皆御仕送りを致すといふことになりました。そこで安心を致して間重次郎光興は御國表へ出立致しました、其跡で大層御喜びになつたのが御新造でございます。（つゞく）

廣告

女流名家の消息

高音獨唱 柴田環女史

◎花の如き美貌と卓越せる藝才とが、累を成し、常に一部女性の嫉妬の焦點たる環女史は何んといつても聲樂に於て日本一の藝術家である。記者一日女史を上六番町の寓居に訪づれ其の嬌音媚態に接するの光榮を得た。

◎明治三十七年日露戰爭の眞最中二十一才で音樂學校を卒業したといふから、既でに三十路に近い筈であるに、天禀の麗質、加ふるに適度の粉黛を施しつゝあれば見るから若々しく、十年の昔虎の門女學館へ自轉車にて通學の時代と毫も變りがない。

◎此の若々しさ、これが女史の猶其の藝才と共に聽衆の數多に矚目せらるゝ所以である。女史が今日、彼の如き若々しき容色を保つについては、勿論天性にも因らうが、化粧法にも非常な苦心がひそんでゐるのであらうと思ふ。そして其の結果現今科學上最も進歩せるレート化粧料を愛用するやうに成られたのであらう。

◎何故なれば、女史の顏を近づいて見てそのおしろいの落着加減が如何にも心地よく、他に擢んでたレートの特色が仄見える、夫れに第一匂ひがレート化粧料である事を證據立てゝゐる。即ち女史は暑い時にはレート化粧水を、寒い時にはクレームレートを洗面或は入浴後必ず用ひて先づ皮膚の根本を養ひ、然る後レートおしろいにて適度に粉黛せられてゐるのである。

日本一の聲樂家 柴田環女史

◎要するに女史の盛名は、一面その藝術的天才を研究の力にて磨き上げ、一面その天賦の容色を現代科學上最も進歩せる平尾贊平商店發賣のレート化粧料にて磨き粧ひ、殆んど美の窮極に達したからではあるまいか。

◎記者は環女史に、聲樂家としての心得には如何なる條件を要するかとお尋ねすると、女史の答へは斯うであつた『樂壇に立たんと致しまするには、先づ身體の健全と、頭腦の明晰と、普通學の養ひは申すに及ばず我國語は勿論、二ケ國以上の外國語が必要で、ブロークン乍らも外人と談話が出來、加ふるに文學的の趣味と優美の思想とを養ひ音樂家を我れなりとする意氣を要すかと存じます。私如きは歌なくば私なきなりと思ふて、朝から晩まで聲にのみ心を委ねて、人を訪ふ途中車上でも思はず發聲を試みて車夫に驚かれる事などがあります』云々。環女史は宛ら鶯の如うな聲で斯く語り打粉で輕く顏を押さへられた、打粉は之れレート打おしろいであつたのである。

ちゞれ毛くせ毛
毛はへうけあい

本法は女髮結師安部歌子女史の多年實地研究したる秘法是迄の使用者を恰く滿足せしめたる一現奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ
東京麴町區三番町六七　小林濟世園

ニキビそばかす、なまづ、田蟲其他吹出物一切に特効ある藤本藥學士發見最新奇藥製劑發賣す郵券二錢封入者に該病療法事無代進呈
東京本郷區東片町二九　振替口座東京七六二九　長田商會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

是からの婦人服

▲色● 今春來主として藤色系統のものが流行しましたが今秋になつても相變らず其の系統のものが流行致します、たゞ此二三年來は總體に濃色の流行がありましたのが多少厭がれ氣味で十歳から十五歳位までの方では藤色の中でも冴へた紅氣の多い方で寧ろ紫に近いのが好まれます、二十歳前後のお方には藤鼠、都鼠、八重藤、乙女色などで何れも藤色を中心として鼠が加はるとか青味が加味した方です、お年を召した方となりますと此春には素鼠といつて單純な鼠色に少しく藍氣を含んだのが流行しましたが今秋も先づこれと同じ事で、たゞ少しく變りましたのは茶色が加味されたやうです。

▲模樣● 相變らず有職風の模樣が流行致しますが之は永い流行で少々厭がれて參りました、昨今では寫生風や風景を上品に模樣化しましたのがちらほらと見えて參りましたが之が恐らく今後の流行となる事が御座りましやう

▲裾模樣● 之は亦年々模樣が大きくなりますのでお年若い方々は昨今江戸褄はお用ひになりませず、前後に模樣のかゝりましたものか或は裾全體の模樣が多くなりました。其模樣の高さも二三年前と比べると大變高くなつて參り江戸褄の如きは主に三十歳以上の御婦人に限られて居ります

▲紋● 紋は從來五つ紋、三つ紋の兩方が用ひられましたが近來正裝用としては五つ紋に限られたやうで大さは昨年よりも幾分小さく直徑八分から八分五厘の所が本年の流行で御座ります、之はまだまだ少し位は小さくなる傾向が見へて居ります

▲羽織● 一般紋付の御羽織としては縮緬類の變り色が多きを占めて居りますが色合は着物よりも少々濃い色、之に次では今春頃から黒色が大分頭を上げて參りました、此冬から定めし黒色の流行を見る事と察しられます、が從來黒は主として五つ紋に限られて居たやうでしたが今年の流行は何によらず御婦人の羽織はすべて三つ紋で御座ります。刺繡紋も大分用ひられますが、之は從來は縫又は織縫ひで明瞭に現はして居りましたけれども昨今は明瞭したい蔭の消し縫ひとか消しぼかしとかかゝり縫ひなどの如くあまり人目に立たないやうに致したのが流行致します　（三越店員談）

秋向新柄着荷
半襟は神田赤のれんに限る
本店　神田表神保町壹番　電話本局二八五三
出店　新橋博品館階上

オモチヤ
めづらしき教育玩具も色々取揃致しました皆様御覧下さいまし
東京銀座三丁目　伊東屋玩具店
東京二五二三　振替二〇四四番

秋季新柄種々着荷
はやりはゑり善
（東京日本橋堺町通りふきや町電浪一一二七〇番）

開闢以來の大豊作は本年也
▲此絶大無比の好期に際し理想的最良機は誕生す▲實地廣告普及の爲め一郡一名を限り破格特價販賣を開始す▲千載一遇の購入好機は今日只今

●動力製繩機 ●藁打機 ●製繩機 ●藁切機 ●製俵機 ●豆粕割機 ●足踏精米機 ●動力各種精米機 ●石油發動機
▲營業案内▼ 第十六版改正 郵券拾錢要ス ●内容●
本店●大阪西區江戸堀南詰
支店●東京神田區元佐久間町
福井商會
振替　大阪九八八六　東京一三九〇五

實用新案特許
衛生「おしめいらず」

▲此おしめいらずは裏表を白ネルにて仕立て其中をゴム引となしたるものなれば大小便の漏れたり又は浸出す事なく殊に取外し便利なる腹掛も附きおれば寢冷風邪等小兒に有勝ちの病氣を防ぐに特效あり旅行には携帯便利にして出産祝ひの御進物品として至極適當なり
一號 六十錢　二號 五十五錢　三號 五十錢　郵送料金八錢

新案特許出願中
安心月帯　一個金九十五錢

▲安心月帯はおしめいらずを別仕立になしたるものにて月經の時に之を使用せば立居に些かの粗相なく平時は圖の如く腹部のみ取外し腹卷とする便利あり夏の薄着に腰部の衞生に注意する方に極めて必要又洗濯には分解自由輕便なり
日本橋區村松町十二番地
製造發賣元「力」河善商店
（長電浪二二七九三番振替口座二三九二）
特約店　上野廣小路松屋いとう呉服店　京橋區銀座二丁目　發明館
右の外全國到處の洋物店足袋店にあり
△特約販賣希望の方は至急御申込あれ

別染めりんす友染
珍柄秩父めいせん
其外絹綿交織反物
東京人形町通よし町
赤のれん　おむなや本店　電話四三四五番
向ふまへ　おむなやめりんす店

資本金八百萬圓
東京京橋區木挽町　株式會社十五銀行　電話新橋 三三〇〇番 一五三〇番 三一九三番
同日本橋區新乘物町　同 日本橋支店　電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇五番
一定期預金　六ヶ月以上年四分
一當座預金　日歩五厘
一特別特別預金　同八厘

東京市日本橋區通一丁目
合名會社森村銀行
電話（特）本局六七三番
電話本局四九八番
定期預金　六ヶ月以上年五分
當座預金　百圓に付日歩七厘
特別當座預金　同日歩一錢一厘

創立　明治九年
資本金　五百萬圓
積立金　參百參拾萬圓
東京市日本橋區小舟町
株式會社第三銀行
電話浪花 四四二 四五一 三七七一 四五六〇
監督　安田善三郎
頭取　安田善四郎
營業部長　清水虎吉

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世の多くの婦人は
子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だ洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に內服藥の必用なる症狀に向で外用藥を用ゐ、外用藥の必用は內服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減內服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尙詳細を知らんと欲すれば詳しき容態を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の內服藥にて中將宮は子宮內膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、痳毒性子宮病等に特效あり殊に良夫の痳疾に罹り居る時は痳毒菌の爲に心付かざる內に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不妊性と流產、子宮內膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不妊症を起し子宮の炎症、卵の發育を妨げ妊娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●取次全國各藥店

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ

ラーロラ

BEETHAM'S **La-rola**

な愛用せざるべからす

此化粧用美容劑は日光、風、硬水に堪る樣皮膚を保ち日焦アセモ、アレ赤顏ソバカス等を防ぐに尤も妙にして且皮膚を柔かく滑かに色白く若若しくす四季を通じて用ゆれば常に美しき皮膚を保ち得らるべし

製造所　英國セルテンハム、エム、ヒーサム、エンド、サン商會

M. BEETHAM AND SON.
CHELTENHAM, ENGLAND.

各地著名の化粧品店にて賣捌く

御扇子
愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂　持阿彌

醫院案內

婦人科
產科
乳兒科
神田區材木町二十三二十四番地
醫學士高橋政秀
電本三七八九番

日本橋區濱町三丁目七番地
電話浪花一六〇番
產科婦人科
濱町病院
院長醫學士小林八十七
醫學士大瀨貴明
醫學得業士杉原格藏
醫學士佐野綱次郎

小兒科
赤坂區青山南町三丁目
醫學士石塚保吉
電話芝三四七四番

產科婦人科 天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長（入院隨意）醫學士天本治
（電話下谷二六六九）

◎**產科婦人科**
芝明船町十九虎門外
電話芝二六四二番
櫻井克巳

…(診察時間)…
◎**產科、婦人科**
月、水、金午前　橋爪病院（浪花二六〇番）入院應需
（日本橋區龜島町一の廿九）
毎日二時ヨリ五時迄　自宅（下谷二四八七）
本鄉區眞砂町十五番地
醫學士橋爪哲造

◎**內科診療**　入院隨時
午前宅診　午後往診
日本橋區松島町（松島稻荷前）
醫學士竹村正
電浪三七六六番

◎◎**產科。婦人科　內科。小兒科**
小石川西江戶川二六
電話番町（一四二六）
森種太郎

小兒科
赤坂區、溜池、榎坂町一番地
岡部環
電話芝三七九九番

齒科診療
毎日自午前八時至午後一時（但シ十五日廿八日休診）
芝區烏森町一番地
石川齒科醫院
電話新橋一九二〇

內田病院
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士內田愼太郎
（午後診察）副院長醫學士瀧原五郎
電話（下谷七二八事務用）（下谷四八三六病室用）

腦神經精神病科
東京龜戶町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

內科橋田病院
（錦町三丁目電車停留場側）
●隔離室設備（診察午前入院隨時）
院長　醫學士橋田茂重
病院　神田錦町三ノ一九（電本二二三九）
自宅　牛込甲良町一一（電番一九六）

小兒科
神田區元柳原町四十番地（須田町或ハ和泉橋ヨリ約一丁）
醫學士尾形茂樹
電話本局三六三六番

醫學博士榊順次郎
醫學士久保德太郎
醫學士田代謹二
醫學士石塚保吉
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙婦產婦ヲ取扱フ
毎日午前診察
日曜水曜午後婦人科的外科
火木土曜日午後泌尿器病及內科
水土曜日午後小兒科
婦人科產科、榊病院
麴町區三番町三三（電話番町三〇三三）

內科診察　宅診午前及夜間九時迄　往診午後
麴町區四番町四番地（電話番町貳三八四）
醫學士中山敏樹

腦神經精神病
東京赤坂 青山病院
帝國腦病院
院長　ドクトル齋藤紀一
醫學士田澤秀四郎
醫學士望月温象
電特芝二七四五　芝一六六五

產科婦人科　小兒科
牛込區納戶町三六
電話番一〇四〇番
野中醫院

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士榊田義衛
電話本局三一九〇

小兒科醫院
本院　四谷區西信濃町十四番地（電話番町八七四）
宅診午前中　入院應需
院長　醫學士川村正治
副院長　醫學士川村信一
分院　芝區西久保巴町四十五番地（電話芝二〇八六）
宅診自午後二時

內科一般
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診　午後往診
板垣亨
電話本局貳千九百七拾番

◎院長ドクトル木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話京橋一六七〇）
婦人科產科　木村病院

●**小兒科**殊に營養障害
淺草下平右衛門町十七
內山小兒科醫院
院長ドクトル、メヂチーネ內山好十（電下二參六五）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

LACTAGOL

ラクタゴール

無乳產婦の福音！

本品ハ「ベックマン」博士ニ據リテ報告セラレタル無臭美味毫モ副作用ナク蛋白質及脂肪質ノ多量ヲ含有セル乳汁ヲ分泌セシムル新藥ニシテ本邦ニ於テハ「ドクトル千秋雄雌郎氏」ニ據リテ既ニ二十六人ノ產婦ニ試用セラレ其症ニ據リテハ服用ノ初日ニ於テ効能ヲ發揮シ他ノ場合ニモ七八日間連服セシムレバ完全ニ奏効ス

（用法容易）「ドクトル千秋氏」ノ報告印刷物御要求ニ從ヒ無代進呈ス

一日用量十五瓦ニシテ百瓦入壹函代價參圓也

乳汁分泌催進劑！

東京市日本橋區本石町三丁目

中村瀧次郎

電話本局｛長八六九番・三五六九番｝

振替貯金口座東京九四三番

嫁入道具

京都市高辻通高倉角

大件簞笥問屋

電話壹五八〇番

POPPŒA

高等化粧品製造所

PAPIER POUDRE, Ltd.

London, England.

英國倫敦パピーア、プーヅル商會製造化粧品は日英大博覽會に於て金牌を受領せり

ポピーア、クリーム、プーヅル。は顏頸腕等に封入使用書通り御用ゐあれば皮膚を艶麗純白にし且つプーヅルは少しも目立だず

當商會は此外ポピーア、ボーヅル、パピーア、マリリンハイジーア。ポピーア、ルーヅ及其他の化粧品類一手製造販賣す

日本一手販賣店横濱山下町七六番C

ベーリツク兄弟商會

皮膚 梅どく りん病 わきが 生殖器諸病 ぢ

東京淺草瓦町廿八 中央醫院 朝八時より九時迄

皮膚諸病 梅どく りん病 消渇 ぢ 田蟲症等

血の道 子宮病 月やくとまりたる病 子なき婦人

にきび 色の黒き人

そばかす あれ 生殖器諸病 神經衰弱症

遺精 夢精 早漏 發育不充分 記憶力減衰 陰萎 わきが

▲病狀を記し郵券四錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院々長處方の特効新藥說明書を送る

東京淺草瓦町廿八 電車停留場横 中央藥院

はげ、脫毛、薄毛、生際惡き人試みよ

毛生液

本劑は第一毛をはやし、ぬけ毛を止め、髮の毛はへぎは眉毛髭等の薄きをこく生し皮膚病でき物ヤケド跡はげ其他あるべき所毛なきに用て毛はへる事請合

●藥價卅錢五十錢特製一圓二圓送料六錢

本舖 東京馬喰町二丁目 本店 大阪平野町一丁目 擴張部 山崎榮三郎

賣捌全國至處藥店化粧品店に有り ◎僞物御注意！

最新吹込みミカドレコード曲譜賣出し

●浪界ノプレシデント桃中軒雲右衛門（セステム）

本日ヨリ左ノ通リ發賣仕候各曲譜ニハ文句集ヲ添呈仕候

雪ノ曙義士銘々傳　定價壹圓六拾錢

注文番號	曲譜名	
四七二	大石藏之助良雄ノ生立チ	
四七三	勝田新左衛門妻子別レ（壹ヨリ四迄）	
四七七	赤垣源藏泉岳寺引揚ケ（上下貳枚）	
四七九	南部坂雪ノ別レ（上下貳枚）	
四八一	堀部安兵衛高田馬場（壹ヨリ參迄）	
四八四	曾我物語	
四七〇	最新流行唄（何テマガエー節）	尺八入リ
四七一		三味線入リ

京都市河原町通三條南入美芳町三丁目

ミカドレコード一手販賣

各種時計及金銀附屬品修理器原料蓄音機各種　卸商　庵原美芳堂

振替貯金口座大阪八七四番　電話上四七壹六番

婦人世界秋季增刊

婦人心得草

十月十日發行　第十二號　一冊定價拾五錢　郵稅一錢五厘

◎世には斯かる量見違いの親あり……加藤博士

■正しい言葉を使はぬ女……柳橋絢子

▽醫者の來るまでの應急手當……樫田學士

■手輕な化粧法……■古今名人の逸話……

▽西洋料理で泣かされた花嫁……妹尾勇吉

■妻君覺え帳……■旅行する時……

▽病氣見舞に行く心得……加藤常子

■貰つて心持の惡い手紙……

▽衣服の手入れ法……藤村喜七

我が家の失敗談……村井弦齋

■斯かる無作法な訪問客あり……

▽近頃の女の言葉つかひ……石黑男爵

■臺所重寶談……■敬語の濫用……

▽寫眞を美しく撮る法……柴田常吉

■不愉快な手紙……■講談『十六羅漢』

▽衣服の着方と配色の心得……高橋義雄

▽妻君試驗に及第した婦人……山脇房子

■家庭に茶式料理を勸む……野崎廣太

◎女學生は無作法なりとの評判あり……下田歌子

東京市京橋區南紺屋町

實業之日本社

尾張屋號

足袋のいろく

紳士貴婦人向

羽二重足袋	絹テン足袋
絹足袋	キヤラコ足袋
毛ジス足袋	紺カスリ足袋
綾キヤラコ足袋	一本綾絨足袋
セル足袋	コール天足袋
綸子足袋	白ガス足袋
繻子足袋	木綿白足袋
紋瀉足袋	紺ガス足袋
外にシャツ股引等	目倉島足袋
總て御好みに應じ	木綿紺足袋
新調可仕候	ラシヤ足袋
	ゴム底足袋

●長電話本局千百五十三番

振替口座番號東京二百二十五番

東京市日本橋區本町二丁目拾壹番地

尾張屋號　松本喜兵衛

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱
神田三河町一ノ一九　博報堂
京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱
京橋區南槇町七　大與社
京橋區南紺屋町一　一星社
神戸市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社
神田須田町廿七　金蘭社
京橋區廣告社

東洋一　製造大販賣　卸し小賣
夜具蒲團　綿類　ざぶとん
●街鐵・外濠・小川町東明館前　下車を乞ふ
諸官省御用
神田表神保町二
矢田本店
電話本局二〇一八番
市内無賃配達
●階上　縱覧御随意　珍柄高等品澤山有り
●綿質保險附●確實大勉强●正札引なし

專賣特許
吹留眞綿製作品

衣裳中入用として使用輕便且徳用なるは吹留眞綿なり

定價
輕目　六拾八錢
並目　八拾錢
重目　九拾五錢

各地各呉服店及綿問屋にて販賣致居候

京橋銀座四丁目停留所前
大和屋綿店　電京一七七

麻布本村一九〇
吹留眞綿販賣部　電芝三三五五八

模造品所々に有之候登錄商標に御注意乞

優美なる眞綿製作品

定價
薄製肌着　貳圓五拾錢
チョッキ　壹圓五拾錢
腰卷　壹圓六拾錢

防寒用として肌さはり最もよきは日本國産眞綿にて製りたる當所製作品にまさるものなし

會員募集

女子大學家政講義

新學期開講！此際申込に限り入會金免除！

■會則附き内容見本申越次第進呈

東京市小石川
日本女子大學校内通信教育會

東京小石川久堅町
精美堂
電話番町九三二

御婦人の寶

御婦人方が生涯無病でお過しなさるには月經の處置が最も大切な事は申上る迄もなく從來の樣に脱脂綿等を挿入なされては經水の滯るのみならず綿の繊が殘り屹度子宮病ヒステリ等の病源となり醫家の嘆かる事です

特許安全帶は榛川藥學士發明消毒安全吸收力脱脂綿の數倍で博士の甚く賞用さるゝ月經時に重寶便利な如何程經水の多い方でも粗漏する事のない起居動作極めて安全なもので又産後や白血血痔漏等に妙です

市内は藥種化粧品にて販賣致升小包料は一組金拾貳錢一組増毎に貳錢増し候

定價
安全帶特甲一筋壹圓貳拾錢乙八拾錢並四拾錢一筋にて二三年使用出來升
安全衣は一打入一箱特甲金六拾錢特乙金四拾錢

本舖　東京市下谷區池之端七軒町四二
安全堂
關西一手販賣　大阪市西區阿波座上通一丁目二十二
洋々堂分店

宮内省及賞勳局各府縣御用達

愛國婦人會御用

金銀木盃調製所

日本橋區新材木町十九番地
新城猪之吉商店
電話浪花參參貳八番

東髪前髪心
新案特許　バリーみやげ
美人印　ヘーヤロール
本品の特長
第一目方は極めて輕く形の久しく崩れずして堅牢なる事他に類なし

目方
大一尺五寸　三匁五分
中一尺二寸　二匁五分
小一尺　一匁五分

東京市神田區豐島町
コロップかもじ製造元
田中金三郎

○全國到る處の小物店にあり（振東一八一八八）

橋本
救世丸と胃腸病

赤十字院長
橋本子爵

赤十字院長橋本子爵の救世丸は最上の消化錠劑なり如何に頑固なる慢性胃腸病と雖も必ず全治す、最强の殺菌劑なるが故に肺結核病に最も有効なり、卓絶なる滋養劑なるが故に牛乳其他の滋養劑に勝り病後の衰弱に最も効あり

岩佐
壯婦丸と婦人病

宮内省侍醫
岩佐男爵

宮内省侍醫岩佐男爵の壯婦丸は從來の陳腐なる漢法藥に非ず最も有効なる貴重藥にて調製し子宮病月經不調氣鬱動氣、逆上、腰痛、産前産後ヒステリー等婦人諸病の良藥なり、又めまい、頭痛、不眠、秘便、神經衰弱等には男女共に偉効あり

○救世丸壯婦丸は愛國婦人會總裁閑院宮妃殿下を始め奉り各宮殿下の御嘉納あり又た陸軍省兩本願寺等の御用藥として我國有史以來未曾有の名譽を辱ふしたる此の一事を以て尋常一般の賣藥に非ずして最も確實に最も有効なる事を證す得べし

○藥價兩劑共拾錢參拾錢七拾錢壹圓參拾錢壹圓八拾錢○効能書贈呈

○本劑は本舖又は愛國婦人發行所に於て會員諸君には一割引にて御取扱申可候

東京深川公園
本舖　合資會社　福井堂
電話長浪花五六九番
振替東京二三六六番

明治四十四年十月十五日發行（毎月二回一日、十五日）
（定價金三錢五厘一ヶ月金七錢郵税不要）
廣告料一行金六拾錢
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　竹内貞三
●發行所　東京麴町區飯田町　電話番町千七百四十五番
●愛國婦人發行所　同五百二十番
●印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所
振替貯金口座東京壹壹三八一番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

附錄 愛國婦人會會報

本部記事

●台臨

▲總裁殿下高知支部會員總會台臨　來る十一月下旬高知支部に於て會員總會開催に付き支部長の申請により總裁殿下御台臨遊ばさるゝ事に確定せり

●有功章贈與

功績に依り一等有功章贈與（六月一日）

福井支部敦賀郡幹事部幹事　大和田ます子
同　宮崎芳子

二等有功章　福井支部敦賀郡幹事部幹事　和田する子
三等有功章　同　稻倉信惠子
同　同　田中りよ子
同　同　光友澄子

功績に依り頭書の通り贈與（九月二十二日）

●教養所記事

▲修學旅行　目下京北中學校に通學しつゝある教養生全部二十四名は同校秋季修學旅行に參加し去る五日新橋驛發車箱根山方面に旅行したるが豫定の如く箱根底倉及び蘆の湯に各一泊の上七日午後七時無事歸寮したり。

▲日誌及所感文の呈覽　第一期生の夏期休暇歸省中に作りたる日誌及歸省所感文を會長所望により呈覽に供したり。

▲飛行機模形競技會　去る九月十七日早稻田大學運動場内に於て執行されたる國民新聞社主催飛行機模形競技會へ同社の厚意により無料參觀を承諾され寮生全部職員引率の下に觀覽したり。

▲衛生狀態　爾來寮生の衛生狀態は非常に佳良にして目下一人の病患者無し。

●彙報

▲會長長崎支部會員總會臨席　長崎支部に於ては來る十月二十九日會員總會を開くに付き豫て同支部長の申請により阿部會長總會に臨席せらるゝ事に確定したり。

▲評議員會　去る九月二十七日午後一時より本部樓上に於て評議員會開催、會長伯爵夫人阿部篤子、副會長男爵夫人濱尾作子、理事、三輪田眞佐子、同男爵夫人關郁子、同古市幸子、同高木鐐子、同山脇房子、同前子爵夫人丹羽花子、並に前伯爵夫人井伊常子、子爵夫人井伊増子、子爵夫人細川同子、子爵夫人本庄孝子、子爵夫人戸田時子、大島富子、岡田德子、大谷かち子、渡邊源子、龜井眞洲子、柳谷千代子、男爵母堂松井琴子、佐方鎭子、櫻井錦子等の各評議員諸氏出席、會務上の件に付き種々協議ありたり。

▲臨時救護

千葉縣安房郡船形町船形
故輜重輸卒藤田若松遺族
父　藤田佐平　弘化四年四月十日生

右者常に漁業を以て生活を營みつゝありしが本年七月二十五日の暴風雨の爲め漁船其他の漁具を流失して忽ち常職を失ふに至り家族老幼七名生計に困窮せしに因り本會は臨時救護として金拾圓を贈與したり。

▲手藝研究所定日變更其他　本會内手藝研究所に於ては今回定日當番割等を變更し左の如く各委員へ通知を發したり。

拜啓手藝研究は都合に依り來る十月より月金兩曜日（午後一時より同四時迄）とし委員當番割を別紙之通り改正又事業に就ては高橋菊衞を聘し別紙の品目製作研究候事に協定相成候間此段御通知申上候也

追て本文の趣は御紹介の會員一般へ乍御手數御傳達被成下度御依賴申上候

明治四十四年九月二十八日
愛國婦人會手藝研究所

●製作品目

一ショール　一羽織紐
一レース　一編製袋物
一皿敷　一切地製袋物
一帶留　一前掛

●明治四十四年十月中手藝研究所委員當番割

十月二日・廿三日（月）	棚橋絢子、關郁子、丹羽花子、高木鐐子、仁杉歌子
十月六日・廿七日（金）	押川愛子、大久保榮子、橫幕武良子、村田歌子、不破政子
十月九日・三十日（月）	山脇房子、渡邊源子、龜井眞洲子、溝口いち子、大谷かち子
十月十三日（金）	柳谷千代子、下岡松子、栗塚龍子、新山雅樂子
十月十六日（月）	有島幸子、原口關子、濱野直子、阿部龍子
十月二十日（金）	三輪田眞佐子、古市幸子、秋間爲子、榊實子

地方記事

東京支部

▲幹事會　去る二日午後一時より本部樓上に於て幹事會開催、出席幹事四十二名にして左の諸件に就き種々協議ありたり。

一、會員募集の件、
二、郡區各幹事部に於て適宜方法に依り幹事部總會又は懇親會等開催の件、
三、各郡區幹事部現住軍人遺族及癈兵に對し本年度に於て新に定期救護被救護者の有無及救護停止及前年に比し贈與額増減報告の件
四、現況調査の結果本年度に於て定期救護金贈與者人員増減報告（口演）
五、各區軍人遺族癈兵増減報告（口演）
六、本年七月以降九月三十日迄新入會員數報告（口演）
七、臺灣討蕃隊第二回慰問袋募集の件

尚又議了の後、醫學博士二木謙三並に文學博士南條文雄兩氏の有益なる講話ありて午後四時半解散したり。

岩手支部

▲支部例會　九月十二日岩手支部例會を縣會議事堂に於て開催、參會者笠井支部長を始め各職員並に會員にして山崎布敎使の精神講話木村警察醫の衛生講話あり和氣靄々の裡に散會したり。

愛媛支部

▲明治四十三年度事務成績

▲會員　一萬九千二百七十八人にして内特別會員五百八十四人通常會員一萬八千六百九十三人なり。

▲救護金　本年度に於て支出したる救護金總額は四千二十六圓此戸數七百二十九戸にして支部長、幹事部長、主事、幹事事務員等各戸に付き親しく家庭の狀況を視察し慰問の上贈與したり。

▲總會　幹事部以下の總會開催十五回にして此場合は戰死者遺族及癈兵を招待し優遇をなすを常とす、

▲慰問袋　本部主催臺灣討蕃隊慰問袋五百二十四袋此代金百三十一圓を得て之を寄贈したり。

▲有功章其他授與者　會務に對する功績に依り本部より表彰されたる者三等有功章四名、特別謝狀十七名、支部より表彰のもの謝狀十四名、

▲軍人遺族接待　五月六七兩日招魂祭擧行に付軍人遺族を接待し支部長始め諸職員式場に至り熱心に斡旋し接待したり。

▲本部總會參列　第九回總會の節會務の成績良好なる幹事部々長二名、同事務員四名、外に支部評議員一名を參列せしめたり。

▲盲啞學校補助　私立愛媛盲啞學校に對し支部救護金中より七月十二月の兩度に百五十圓宛支出し補助を與へたり。

▲評議員會　本年度開催三回。

▲會計檢査　本縣官會計檢査の際温泉郡幹事部の會計檢査を依囑し施行したり。且つ本部より第二部長來松當支部の會計檢査及事務の視察ありたり。

▲規則制定及改正　戰死準戰死者及癈兵に對し從來贈與の救護金は金額寡少にして窮困者一時の急を救ふことを得べきも未だ各個家計を助くるには不充分の感あるを以て此貧困者をして永遠に救濟せんことを企圖し生業補助規定を設け本部へ稟議を經之を施行す又本會より通牒の支部給與準則に基き支部職員の給與規定を改定したり。

長野支部

▲幹事部會員總會　長野支部は秋季に於て管内上伊那、下伊那、更級の三幹事部に會員總會を開催し、一郡に付き會員各一千名宛募集の豫定あり、上伊那郡に於ては來る十七日總會開催、他は不日決定する筈なり。

靜岡支部

▲幹事部長會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十月一日靜岡支部に於て幹事部長會を召集し松井支部長、松井支部顧問、小島副長、及市內在住評議員、田中主事の外講話の爲め特に出張ありたる本會棚橋理事臨席、午後一時十分開會、松井支部顧問並に松井支部長の挨拶あり、會務に關する協議をなし、該事項は田中主事より敷衍說明する所ありて、終て彰功規程に依り四十三年度成績に對し、松井支部長より靜岡市幹事部に會員歩合、引佐郡幹事部に會費收納歩合優等表彰狀及銀盃を附與し、引佐郡幹事部長(代理事務員)の答辭あり午後二時三十分閉會、引續き棚橋理事の講話あり午後四時終了、記念撮影をなし、一同靜岡衞戍病院に至り先年當支部內有志の寄贈に係る娛樂室に於て入院患者を慰問して解散せり。

▲小笠郡幹事部講話會　十月二日靜岡支部管內小笠郡幹事部は掛川町公會堂に於て講話會を開き本會棚橋理事、小島支部副長臨席、午後二時開會、來會者は同幹事部內幹事其の他三百有餘名にして棚橋理事は精神修養に關し約二時間に亘り講話あり多大の感動を與へ、次で本田幹事部顧問閉會の辭を述べ午後四時終了解散せり。

▲幹事部講話會　靜岡支部賀茂郡幹事部は東洋大學講師廣井辰太郎、文學士大內青里、醫學士大內恒三氏の下田町へ出張を機とし、去る九月六日午後一時より同町尋常高等小學校に於て講話會を開き、會員其他聽衆百餘名にして、雀部幹事部顧問開會の辭を述べ、廣井辰次郎氏は「婦人問題」大內青里氏は「一日の修養」大內恒氏は「醫學上より見たる婦人の價値」に就き熱心なる講演あり、多大の感動を與へ、午後五時閉會したり。

北海道支部

△皇太子殿下奉送迎と會員狀況　當支部は豫め當該官廳に交涉して奉送迎に關する諸般の打合をなし一面各幹事部に對し此の千載一遇を期とし充分會務の整理をなし併せて會旨擴充の方法を講ずべきを以てせり、抑も今回の行啓は單に御見學の御趣旨に止まるにあらずして親しく民狀を御視察あらせられ拓地殖民の狀況を覽はせらるゝにある如く拜聞せらるゝを以て道民は之を以て千載一遇の盛事とし奉送迎上出來得る限りの誠意を盡して台慮に答へ奉らんとせり、我愛國婦人會員も亦非常なる熱心を以て事に當りしかば一般婦人の愛國的思想自ら活氣を帶び來り記念として新に入會するもの續出し又會費殘額を皆納し若くは數年の滯納會費を皆納して終身會員となるもの殆んど應接に遑あらざるの盛況を呈したり奉送迎に關しては幹事以上の役員は停車場內プラットホームに於て一般會員は御道筋一定の場所に集合整列して奉迎送を爲し支部よりは幹事以上の役員七百四十三名に記念繪端書を配與し永く此盛事を記念せしむ、尙行啓を記念し新に入會したるもの特別會員三百七人通常會員千百五十九人合計千四百六十六人にして新入會員の內一時出金終身會員となりたるもの四十七人從來の在籍會員の內殘額皆納終身會員となりたるもの四百二十六人なり。

熊本支部

▲支部例會　熊本支部に於ては常に本會の發展に努力し支部長を始め幹事其他主なる會員等相集り毎月例會を催し會務上の打合せを爲し其他知名の士を聘して修身齊家若くは家庭衞生等の講話を聽くを例とし殆んど當支部創立以來繼續開催し來りたり去月二十三日も午後一時より其例會を赤十字社支部に於て開催したりしが支部長其他幹事會員等五十有餘名出席、細川侯爵令妹靜子姬も參列あり、支部よりは河內山主事以下事務員出席し定刻に至るや河內山主事より支部活動上に關する諸般會務の報告若くは打合を爲し終て尾藤新也氏の有益なる歷史講話ありて非常の盛會を告げ午後五時散會したり。想ふに此例會たるや役員は固より出席會員に於ては本會の實況を周知し交互に意思を疏通し得る等最も有益なる會合にして延て本會活動上に於ける一致協力の精神を發揮し會務執行上頗る有益なる事たるは既往の經驗に徵して明なる事實なり、是に於て當支部は其の例會に方り成る可く多數會員の出席を百方勸誘し將來益々盛大ならしめんことを期圖し居れり其他郡幹事部等に對しても亦常に幹事部總會若くは町村總會等を催すべきことを勸誘しつゝあり。

●明治四十三年度事務成績(承前)

▲軍人遺族接待　熊本招魂祭は每年五月六日七日の兩日を以て擧行せらるゝ例なりしが第六師團は先年末朝鮮守備の大任に就き五月中旬任滿ちて全部歸還することゝなりたるを以て該祭典は師團全部の歸還を待ちて擧行することに決し遂に五月二十八日二十九日の兩日熊本市藤崎臺に於て擧行することゝなりたり。是より先き當支部に於ては例年の通り參拜遺族の接待を爲すべく大に其準備を整へ步兵第十三聯隊營庭に遺族接待所を設置し參拜遺族に對し茶菓の接待をなしたり、其兩日間に接待したる遺族數は實に四千有餘人の多數に上れり。

▲軍隊出迎　第六師團は朝鮮駐剳の任務を了へ歸還することゝなりしを以て同年四月二十九日師團司令部の歸還を始めとして旅團司令部其他幹部歸還の都度熊本停車場へ川路支部長以下役員一同出迎へ夫々慰問の辭を述べたり。

▲幹事部並町村會員總會　本年中開催したる幹事部總會及町村會員總會は總數七回にして內幹事部總會一回町村總會六回何れも非常の盛會にして支部よりは其の都度役員出張臨席したり。

▲敎養生入所　本年度敎養生志願者は四名なりしが內左記の者一名入所許可せられたり。

熊本市藪ノ內町六番地
故陸軍步兵曹長卯吉郎弟　久保　滿雄

▲佩有功章者　四十二年末現在佩有功章者は一等六名二等二十二名三等七十名なりしも本年中他支部へ轉住又は死亡したるもの二等死亡一名三等死亡一名轉住五名にして差引現在一等六名二等二十一名三等六十四名なり。

富山支部

●明治四十三年度事務成績(承前)

十月一日　幹事部長會議を開き今回創設の收集規程等を協議せり。

十月十一日　濱田支部長は射水郡高岡市の兩幹事部を巡視せられたり。

評議員伊藤操子參與伊東喜八郎氏は各其の職を退けり。

十月十三日　濱田支部長は東、西礪波郡幹事部を巡視せられたり。

十月二十八日　濱田支部長は氷見郡幹事部を巡視せられたり。

十月二十九日　濱田支部長は中、下新川郡兩幹事部を巡視せられたり。

十一月二十日　中新川郡西加積村分區に第一回總會を開けり。

十二月二十八日　評議員長岡ふで子囑託を解除せられたり。

五、軍人遺族廢兵者慰藉活動寫眞會

軍人遺族廢兵者慰藉並に會員優待の目的を以て活動寫眞器を購入せしが開會の時期場所等を擧ぐれば左の如し。

月日	場所	來會者數
五月二十八日	高岡市板橋座	九百名
五月二十九日	同所	晝壹千名 晩壹千二百名
五月三十日	同所	壹千六百名

六月十八日	婦負郡宮川村萬壽寺	八百名
六月十九日	同郡八尾町明治座	六百名
六月二十日	同所	七百名
六月二十二日	下新川郡三日市町鐵法寺	二千名
六月二十三日	同郡生地町願樂寺	千二百名
六月二十四日	同郡入善町小學校	千名
六月二十五日	同郡南保村常泉寺	五百名
六月二十八日	同郡魚津町娃子座	六百名
六月二十七日	下新川郡片貝谷村宗淋寺	千二百名
六月二十八日	同郡下中島村小學校	七百名
七月二日	中新川郡滑川町東雲座	五百名
七月三日	同郡同町男子小學校	千三百名
七月四日	同郡東水橋町日吉座	五百名
七月五日	同郡上市町小學校	七百名
七月六日	同郡五百石町松山座	五百名
七月七日	同所	五百名
七月八日	同郡利田村小學校	六百名
七月十二日	婦負郡杉原村小學校	九百名
七月十三日	同郡卯花村小學校	四百名
七月十四日	同郡山田村蓮經寺	六百名
七月十五日	同郡音川村小學校	四百名
七月十八日	上新川郡廣田村善性寺	七百名
八月一日	氷見郡氷見町第一小學校	千二百名
八月二日	同郡同町第二小學校	七百名
八月三日	同郡十二町村浦野又六方	四百名
八月四日	同郡十二町村小學校	六百名
八月五日	同郡同村下久津呂小學校	六百名
八月六日	同郡阿尾村願生寺	四百名
八月七日	同郡藪田村光福寺	六百名
八月十四日	下新川郡前澤村小學校	八百名
八月十四日	同郡西布施村光學坊	九百名
八月十六日	同郡松倉村神明社	千名
八月十八日	同郡三日市町小學校	千二百名
八月十九日	同郡若栗村眞照寺	八百名
八月二十日	下新川郡荻生村小學校	八百名
八月二十一日	中新川郡相ノ木村小學校	千二百名
八月二十四日	上新川郡月岡村西光寺	六百名
八月二十五日	婦負郡黑淵谷村樫尾小學校	四百名
八月二十六日	同郡千里村小學校	千名
八月二十七日	同郡熊野村小學校	八百名
八月二十八日	同郡百塚村小學校	四百名
八月二十九日	同郡四方町小學校	千二百名
八月三十日	同郡八幡村小學校	六百名
十月一日	富山衞戍病院	百名
十月六日	富山縣會議事堂	千五百名
十月十日	射水郡小杉町小學校	八百名
十月十一日	同郡橋下條村小學校	八百名
十月十二日	射水郡大江村專光寺	七百名
十月十三日	同郡作道村小學校	千五百名
十月十四日	同郡片口村小學校	七百名
十月十五日	同郡伏木町野田座	六百名
十月十六日	同郡伏木町不遠寺	千名
十一月一日	東礪波郡出町眞如院	千名
十一月二日	同郡五鹿屋村的池庄藏	八百名
十一月三日	同郡油田村西方寺	九百名
十一月四日	同郡東野尻村萬福寺	千名
十一月五日	同郡種田村小學校	七百名
十一月六日	同郡東山見村西蓮寺	八百名
十一月七日	同郡太田村專念寺	九百名
十一月八日	同郡柳瀨村小學校	千二百名
十一月九日	同郡中田町善興寺	九百名
十一月十日	同郡般若野村運源寺	四百名
十一月十一日	同郡南般若村遠忍寺	四百名
十一月十二日	同郡中野村小學校	千名
十一月十三日	同郡東般若村照圓寺	四百名
十一月二十日	中新川郡西加積村小學校	八百名
十一月廿二日	東礪波郡庄下村小學校	七百名
十一月廿三日	同郡井波町八乙女座	六百名
十一月廿四日	同郡高瀨村了泉寺	四百名
十一月廿五日	同郡井口村小學校	七百名
十一月廿七日	同郡城端町朝日座	五百名
十一月廿八日	同郡大鋸屋村小谷川善藏	二百名
十一月廿九日	同郡山田村小學校	千名
十二月二日	同郡雄神村小學校	六百名
十二月四日	同郡般若村滑念寺	四百名
十二月五日	同郡福野町惠比壽座	五百名

愛國婦人第二百三十五號附錄　發行兼印刷人　山澤俊夫　編輯人　竹內貞三　發行所　東京麴町區飯田町　愛國婦人發行所　印刷所　東京市小石川區久堅町　博文館印刷所

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN